

地域保健福祉推進協議会

第 1 回健康あだち 2 1 専門部会 報告資料

件 名	令和 2 年度「子どもの健康・生活実態調査」の実施結果（概要） について												
所管部課	衛生部 ころろとからだの健康づくり課												
内 容	<p>令和 2 年 1 0 月に実施した第 6 回「子どもの健康・生活実態調査」について、実施結果の概要を報告する。</p> <p>1 調査の概要</p> <p>(1) 目的 全ての子どもたちが自分の将来に夢や希望が持てる地域社会の実現に向けて、子どもの健康と生活の実態を正確に把握し、子ども施策の評価や今後の対策に活用する。</p> <p>(2) 調査対象者 区立小学校に在籍する小学 6 年生全数 中学 2 年生の一部</p> <p>(3) 調査方法 無記名アンケート方式により、区が学校を通じて質問票・回答票の配付・回収を行い、東京医科歯科大学と国立研究開発法人国立成育医療研究センターが結果の集計・分析を実施した。</p> <p>(4) 調査内容 子どもの健康状態や生活習慣、保護者自身の健康状態や子どもとの接し方、経済状況等（食習慣、歯磨き習慣、生活リズム、自己肯定感、就業状況、世帯の収入、社会的つながり等）</p> <p>(5) 回答票の回収件数及び有効回答数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>調査 対象者数 a</th> <th>回答票 回収件数 b</th> <th>回答票 回収件数 b/a(%)</th> <th>有効 回答数 c</th> <th>有効 回答率 c/a(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学 6 年生</td> <td>5, 355 (5, 311)</td> <td>4, 897 (4, 605)</td> <td>91. 4 (86. 7)</td> <td>4, 489 (4, 290)</td> <td>83. 8 (80. 8)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()内は、同様の調査を実施した 3 0 年度の実績値</p>		調査 対象者数 a	回答票 回収件数 b	回答票 回収件数 b/a(%)	有効 回答数 c	有効 回答率 c/a(%)	小学 6 年生	5, 355 (5, 311)	4, 897 (4, 605)	91. 4 (86. 7)	4, 489 (4, 290)	83. 8 (80. 8)
	調査 対象者数 a	回答票 回収件数 b	回答票 回収件数 b/a(%)	有効 回答数 c	有効 回答率 c/a(%)								
小学 6 年生	5, 355 (5, 311)	4, 897 (4, 605)	91. 4 (86. 7)	4, 489 (4, 290)	83. 8 (80. 8)								

	調査 対象者数 a	回答票 回収件数 b	回答票 回収件数 b/a(%)	有効 回答数 c	有効 回答率 c/a(%)
中学 2年生	659 (676)	617 (632)	93.6 (93.5)	551 (583)	83.6 (86.2)

※()内は、同様の調査を実施した30年度の実績値

2 主な調査結果（概要）

別添資料「令和2年度 報告書【概要版】」参照

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会 報告資料

件名	「足立区糖尿病対策アクションプラン」に基づく令和2年度事業実施結果等の概要報告について																		
所管部課	衛生部 ころろとからだの健康づくり課																		
内容	<p>「足立区糖尿病対策アクションプラン」3つの基本方針に基づき、令和2年度に行った主な事業の実施結果等を報告する。</p> <p>1 野菜を食べやすい環境づくり</p> <p>(1) あだちベジタベライフ協力店</p> <p>ベジ・ファーストメニューや野菜たっぷりメニュー等を提供する店舗数…910店舗（令和3年3月末時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開拓委託による新規登録【120店舗】 ・ 既存店ののぼり旗等掲示物の点検【190店舗】 <p>ア 6月食育月間では「自宅で“ちょい増し野菜”」をテーマにA-メール、豆の木メール、Facebook等で啓発を実施【46回】</p> <p>イ 11月糖尿病月間では「コロナ太りが気になるアナタ！」をテーマに「テイクアウトで野菜が食べられるメニュー」の提供やSNSを活用した啓発を実施</p> <p>【メニュー提供：25店舗 3,147食、SNSでの発信56回】</p> <p>ウ 朝から野菜が食べられる「ベジタベモーニングメニュー」の登録店舗数…14店舗（令和3年3月末時点）</p> <div data-bbox="491 1406 1327 2020"> <p>(店) ベジタベライフ協力店 店舗数の推</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>店舗数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013年 (H25)</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>2014年 (H26)</td> <td>630</td> </tr> <tr> <td>2015年 (H27)</td> <td>624</td> </tr> <tr> <td>2016年 (H28)</td> <td>607</td> </tr> <tr> <td>2017年 (H29)</td> <td>592</td> </tr> <tr> <td>2018年 (H30)</td> <td>728</td> </tr> <tr> <td>2019年 (R1)</td> <td>815</td> </tr> <tr> <td>2020年 (R2)</td> <td>910</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年次	店舗数	2013年 (H25)	82	2014年 (H26)	630	2015年 (H27)	624	2016年 (H28)	607	2017年 (H29)	592	2018年 (H30)	728	2019年 (R1)	815	2020年 (R2)	910
年次	店舗数																		
2013年 (H25)	82																		
2014年 (H26)	630																		
2015年 (H27)	624																		
2016年 (H28)	607																		
2017年 (H29)	592																		
2018年 (H30)	728																		
2019年 (R1)	815																		
2020年 (R2)	910																		

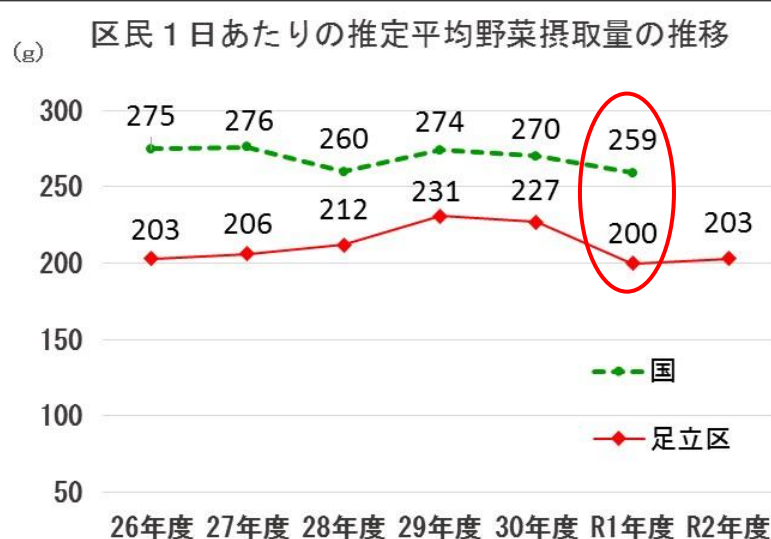
(2) 区民の野菜摂取

ア 区が 11 月に実施した「簡易型自記式食事歴法質問票 (BDHQ) による食習慣調査」

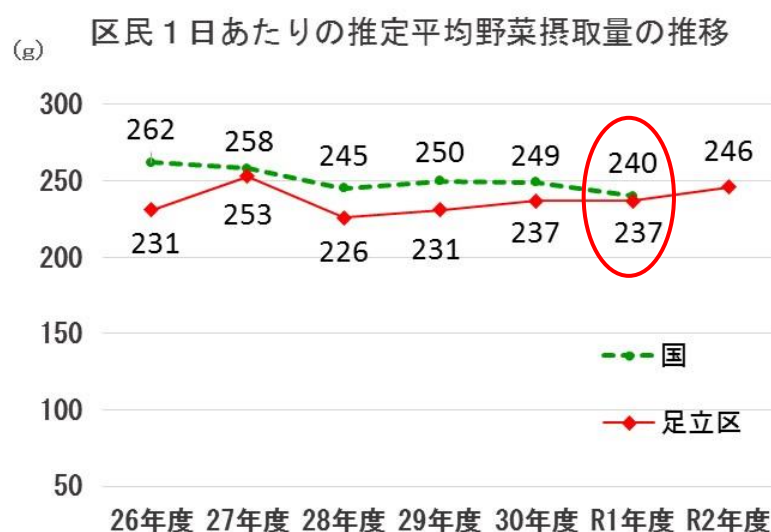
1 日あたりの推定平均野菜摂取量…229g (令和元年度より 8g 増加)

推定野菜摂取量は 229 g であり、国が推奨する 350 g/日以上には 121 g 足りない。平成 26 年度から横ばいが続いているが、国との差は縮小傾向にあり、特に女性は差が縮まっている。

【男性】



【女性】



(3) クックパッド「東京あだち食堂」、A-メール等における啓発

ア A-メールへのレシピ配信数 53 品 累計 365 品

イ レシピ投稿サイト「cookpad (クックパッド)」の足立区公式キッチン「東京あだち食堂」へのベジレシピ掲載数 55 品、累計 296 品、総アクセス数 約 231 万回 (令和 3 年 3 月末時点)

ウ 足立成和信用金庫のLINEにて、野菜100gレシピ24品配信

(4) 北足立市場協会や民間企業等との連携

ア 北足立市場協会との連携

地域の青果店で、旬の野菜を使った100gレシピを配布（35店舗）

イ 民間企業等との連携

足立成和信用金庫、明治安田生命保険相互会社、第一生命保険株式会社等と、糖尿病月間リーフレットの配付等で連携

2 子ども・家庭の良い生活習慣の定着

(1) 「あだち 食のスタンダード サポート BOOK」の活用

凝った料理を覚えるよりも、簡単であってもバランスのとれた食生活を可能とする実践力＝「あだち 食のスタンダード」の定着を目指し、学童保育室や高校等で活用。

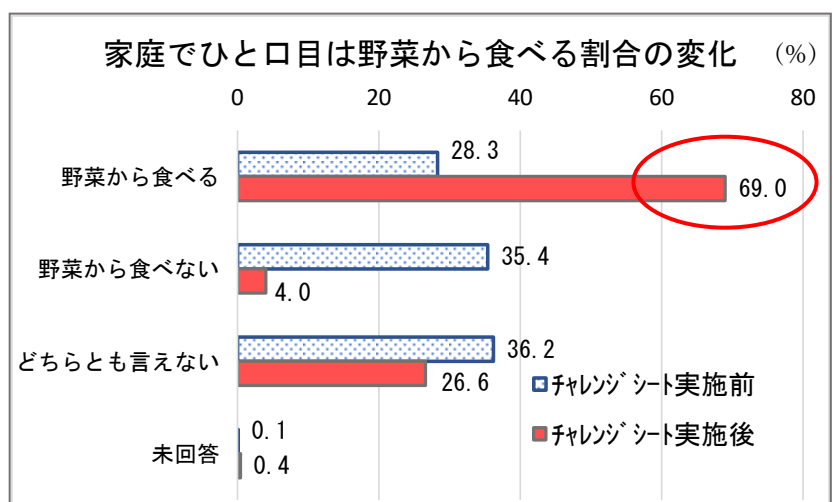
- ・ ちょい増し野菜編（高校生、保護者等対象） 5,000部

(2) 幼稚園等における取り組み

幼稚園等での出張栄養教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止としたが、「おうちでもひと口目は野菜からチャレンジシート」を活用し、家庭への啓発を実施。

98園、4,972人

チャレンジシート実施後、「野菜から食べる園児の割合」は、28.3%から69.0%に増加。



保護者対象アンケート回答：32園 962人

(3) 学童保育室および高校における取り組み

料理教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止としたが、代わりに学童保育室および高校向けに資料を配付。

26回、2,539人

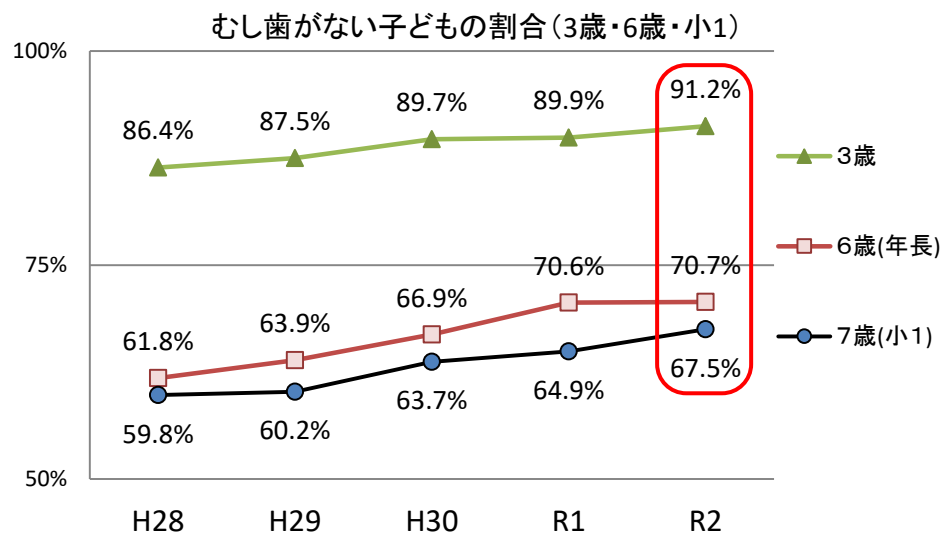
(4) 子どもの歯科健診結果

ア むし歯がない子どもの割合（3歳児・年長児・小学1年生）

むし歯がない子どもの割合は、3歳児は前年度より1.3ポイント増加し、初めて9割を超えた。

6歳(年長児)は0.1ポイントと微増で70.7%、小学1年生は、2.6ポイント増加し、67.5%であった。

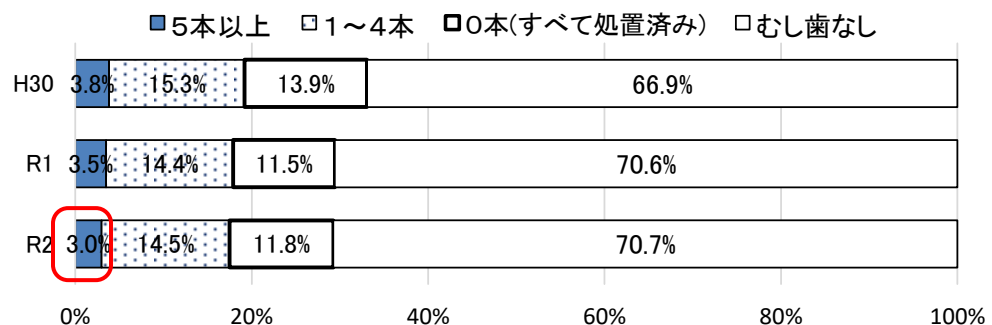
※ 新型コロナウイルス感染症により、あだちっ子歯科健診および定期学校健康診断は、通常より約5か月遅れて実施。



イ 未処置のむし歯が5本以上ある子どもの割合（年長児）

未処置のむし歯を5本以上有する年長児の割合は、0.5ポイント減少し、3.0%であった。

年長児で5本以上未処置のむし歯を持つ子どもの割合(H30～R2)



(5) 未就学期および学齢期における歯の健康の取り組み

ア 年長児・小学1年生対象「6歳臼歯健康教室」の実施

健全な6歳臼歯(永久歯)を育成するため、教育・保育施設、小学校で、区歯科衛生士によるむし歯予防教室を実施。

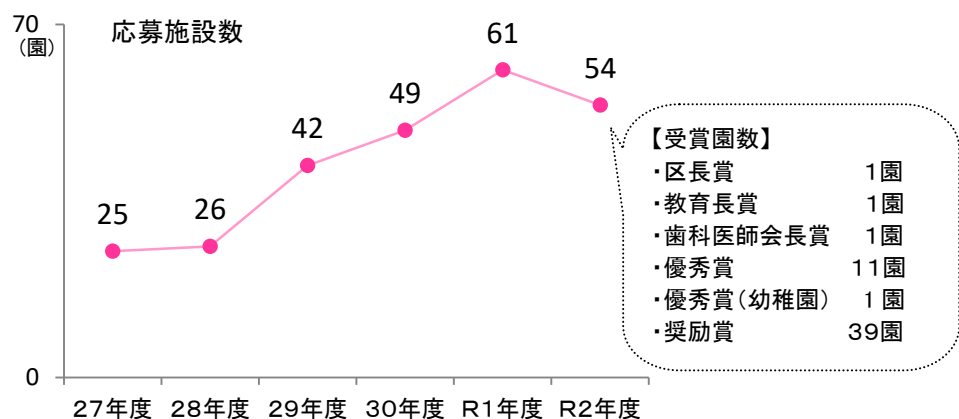
令和2年度は、緊急事態宣言により中止となった施設に、ワークシート等の資料配付を実施(78施設 2,146人)。

「6歳臼歯健康教室」実施状況

	教室実施数			
	合計	私立幼稚園	保育施設	小学校
R2年度 (R1年度)	61 (212)	6 (28)	22 (123)	33 (61)

イ 「あだちっ子・いい歯推進園表彰事業」の実施

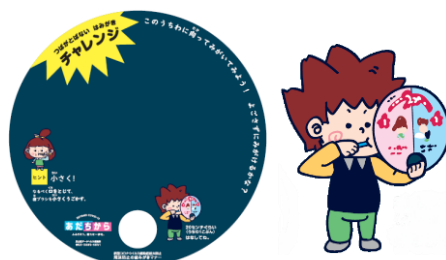
歯みがきや歯によいおやつ習慣づくり等に積極的に取り組む保育施設や幼稚園を表彰し、リーフレットやホームページ等で広く区民に紹介。



ウ 飛沫防止の歯みがきマナー啓発の取り組み

飛沫を防ぐ歯みがき・うがいの方法について、印刷物を作成・配付。

- ・歯みがきマナー啓発うちわ 27,000部
- ・飛沫防止啓発ステッカー 8,000部



*子どもたちの歯みがき練習で使用
「歯みがきマナー啓発うちわ」
(年長児・小学1,2年生等)



*洗面台等に貼って啓発
「飛沫防止啓発ステッカー」
(区関連施設、教育・保育施設等)

3 糖尿病重症化予防

(1) 40歳前の健康づくり健診

ヘモグロビンA1c値5.6%以上の方291人全員に対して、栄養指導・保健指導を実施。さらに2か月後に、受診状況や生活改善状況を確認するフォローを電話等で実施。

年度	健診受診者 (人) a	ヘモグロビンA1c値 5.6%以上の人数 b (b/a%)	2か月後 フォロー数(人)			
			栄養指導 (5.6~ 6.4%対象) 実施数 c (c/a%)	保健指導 (6.5%以上対象) 実施数 d (d/a%)	栄養指導 実施数 e (e/c%)	保健指導 実施数 f (f/d%)
R2	949	291 (30.7%)	287 (30.2%)	4 (0.4%)	234 (81.5%)	4 (100%)
R1	1,324	220 (16.6%)	214 (16.2%)	6 (0.4%)	158 (73.8%)	6 (100%)

令和3年4月末時点

(2) 医師会、歯科医師会、薬剤師会の連携による糖尿病合併症予防の仕組みづくり

協力医療機関数 371 機関（内科 131、眼科 33、歯科 193、薬局 14）

(3) 薬剤師会による糖尿病重症化予防フォロー事業の実施

ア 区内 14 薬局（※1）において、ヘモグロビンA1c値測定の結果、糖尿病が疑われるヘモグロビンA1c値6.5%以上の区民を医療機関へ受診勧奨

	ヘモグロビンA1c値 測定者数 a	ヘモグロビンA1c値 6.5%以上の人数 b (b/a%)	受診確認が できた人数 c (c/b%)
足立区民	83人 (88人) ※3	7人 (11人)	1人 ※2 (4人)
区外	20人 (40人)	3人 (5人)	—

※1 令和2年12月に1薬局減少、令和3年3月に3薬局追加

※2 7人のうち受診確認できなかった6人の内訳：すでに病院につながっていた方1人、連絡が取れない方2人、薬局にて経過観察の方3人

※3 ()内は、令和元年度の実績

イ 薬局でのヘモグロビン A1c 値測定とベジタベライフを合わせた啓発用ティッシュを作成し、薬局で配布（7,000 個）

(4) 各種イベントや乳幼児健診等でのヘモグロビン A1c 値測定

新型コロナウイルス感染症の影響で、例年実施している各種イベントでのヘモグロビン A1c 値測定が実施できず、測定者は 116 名であった。

前年度に比べて測定者は減少したが、乳幼児健診では、ヘモグロビン A1c 値測定の代わりに、短時間で行える血糖検査を 339 件、個別指導を 636 件実施した。

(5) 糖尿病・成人眼科健診（※令和元年度より名称変更）

生活習慣や加齢に伴う眼科疾患（糖尿病網膜症、緑内障、白内障、加齢黄斑変性等）を早期に発見して進行を予防するため、対象者全員に受診券を送付。

ア 対象者

(ア) 45 歳・50 歳・55 歳の足立区国民健康保険加入者で、次のいずれかの条件に該当する方

- ① 前年度の足立区国民健康保険特定健診を受診しなかった方
- ② 前年度の足立区国民健康保険特定健診を受診し、ヘモグロビン A1c 値 5.6%以上で眼底検査を受診していない方

(イ) 60 歳と 65 歳の区民全員（前年度の足立区国民健康保険特定健診眼底検査受診者を除く）※令和元年度より 65 歳を追加

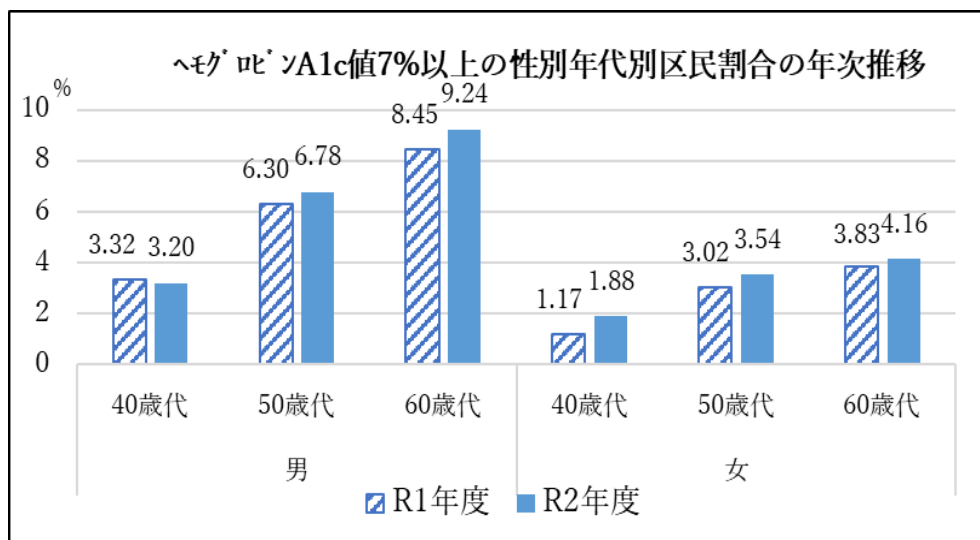
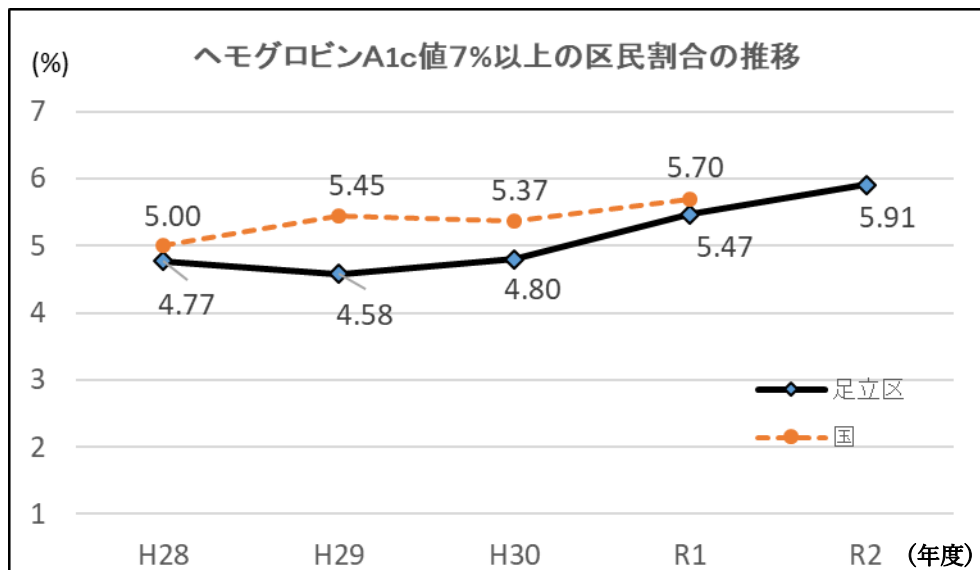
イ 受診者数

年度	対象者数	受診者数	受診率
R2	19,213 人	2,818 人	14.7%
R1	19,356 人	2,941 人	15.2%

(6) ヘモグロビン A1c 値 7%以上の区民（足立区国保 40～74 歳の特定健診受診者のうちヘモグロビン A1c 値 7%以上の者）の割合

ヘモグロビン A1c 値 7%以上の区民の割合は、昨年度に比べ 0.44 ポイント増加した。コロナ禍における生活様式の変化（在宅ワーク・外出自粛による運動不足、食生活の乱れ等）も影響を与えていると推測している。

性別年代別に見ると、どの年代でも男性の割合が高く、50 代から数値が急激に増加している。



4 今後の方針

今年度も新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、「糖尿病対策アクションプラン」の3つの基本方針に基づき、対策を進めていく。

野菜を食べやすい環境づくりでは、事業所などの職場領域における「野菜摂取量の見える化」による啓発や、SNSを活用した情報発信を行い、特に働き世代の男性にアプローチしていく。さらに、重症化予防については、データヘルス推進課と連携し、ハイリスク者への受診勧奨、若年者には健診後の指導を通じた予防支援を行っていく。

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会 報告資料

件名	小中学校での取り組みについて
所管部課	学校運営部 学務課
内容	<p>令和2年度おいしい給食推進事業の実施結果及び令和3年度の事業計画について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 令和2年度の実施結果（主な取り組み）</p> <p>(1) もりもり給食ウィーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日：6月（中止） 令和3年1月中の1週間、各学校で実施 ・ 内容：喫食時間確保、給食時間中の教員等の関わりの充実、食育の実施 <p>(2) 給食メニューコンクール</p> <p>応募数は例年より減少した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ：「パワーアップ！家族や友だちが元気になる給食」 ・ 応募数：小学生応募総数 2,406 作品【R1年度：4,342 作品】 中学生応募総数 2,478 作品【R1年度：2,638 作品】 ※ 区長賞ほか、小中学校上位各10作品を表彰 (表彰式(10/26(月)))は規模を縮小し各5作品を表彰 <p>(3) 魚沼産コシヒカリ給食の日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日：10月27日(火) ・ 内容：中学生が「魚沼自然教室」でお世話になっている農家の新米を小中学校、区立保育園等の給食に提供 <p>(4) 小松菜給食の日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日：11月17日(火)、18日(水)、25日(水) ※ 各校いずれかの日で実施 ・ 内容：JA東京スマイルより無償で提供いただいた小松菜を使用した給食を小中学校で一斉に実施 <p>(5) 野菜の日（衛生部との協働による糖尿病対策）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日：月1回（各学校ごとに実施） ・ 内容：旬の野菜を使った給食を提供し、野菜摂取の啓発と食育を実施。また、給食だよりに家庭用レシピを掲載するなど家庭での野菜摂取を啓発 <p>(6) 「ひと口目は野菜から」事業の推進</p> <p>教室掲示用ポスターを全校の各教室内に掲示し、野菜摂取の啓発を行</p>

った。

(7) おいしい給食指導員の巡回指導

ベテラン学校栄養士の経験やスキルを活用し、残菜率が高い学校や経験の浅い栄養士が配置されている学校へ巡回指導、助言を行うとともに、指導改善の検証のため再訪問を行った。

- ・ 訪問校数 延べ90校（小学校：59校 中学校：31校）

(8) 「家庭科学習指導案」、「わが家のシェフになろう」の実施

(9) JICA（独立行政法人国際協力機構）の教材に取り上げ

学校での給食・食育の取り組みの様子が、同機構が作成する各国の保健行政官向け教材映像として取り上げられた。

2 令和3年度の実施計画（主な予定）

新しい生活様式や学校現場の実情を踏まえながら、学校での取り組みや家庭への働きかけを通じ、児童・生徒の食への意識、意欲を高めていく。

事業名等	日程（予定）	取り組み
野菜摂取啓発 「ひと口目は野菜から」の取り組み	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・ デザインを刷新したポスターを作成し、全クラスで給食時間に掲示 ・ 教室のモニターを活用し啓発 ・ 校内放送による呼びかけ
野菜の日	通年 (毎月1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校ごとに毎月実施 ・ 給食で旬の野菜を味わう ・ 給食だより等で家庭用レシピを提供
おいしい給食 検討会	毎月1回 (2月除く)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校栄養士のスキルアップ ・ 検討内容（献立、給食会計、衛生管理、アレルギー対応等に関する指導と意見交換等）
もりもり給食 ウィーク	6月(食育月間) 1月(給食週間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食べる時間の確保と食指導を実施
給食メニュー コンクール	募集 夏休み期間 ※ 表彰式 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマに合わせた給食メニュー作品を募集
魚沼産コシヒカリ給食の日	10月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生が「魚沼自然教室」で収穫した新米を小中学校、区立保育園等の給食で提供

事業名等	日程(予定)	取り組み
おいしい給食アンケート	実施 10月～11月 集計・分析 12月～2月	・ 全校(小学6年生、中学2年生)を対象に実施
小松菜給食の日	11月下旬	・ 足立区産の小松菜(JA東京スマイル農業協同組合より提供)を使用し給食を実施
「家庭科学習指導案」の活用	通年	・ 栄養、献立作成及び調理実習における基礎的な指導案を各校で活用
長期休み期間の課題「わが家のシェフになろう！」	通年	・ 児童、生徒が自宅で調理を行い、食の実践力を養う
食育リーダーを中心とした体制の強化	食育リーダー研修会 (6月、10月、1月)	・ 栄養士以外の教員を食育リーダーとして指定 ・ 学校全体でおいしい給食・食育を推進 ・ 研修会を年3回実施
学校栄養士・食育リーダーのスキルアップ	通年	・ おいしい給食指導員による指導、助言事例を、栄養士、食育リーダーに周知

3 小中学校平均残菜率・総残菜量の推移について

(1) 小中学校別平均残菜率

● 小学校

9.0% (平成20年度当初) → 1.8% (令和2年度)

● 中学校

14.0% (平成20年度当初) → 4.3% (令和2年度)

(2) 小中学校総残菜量

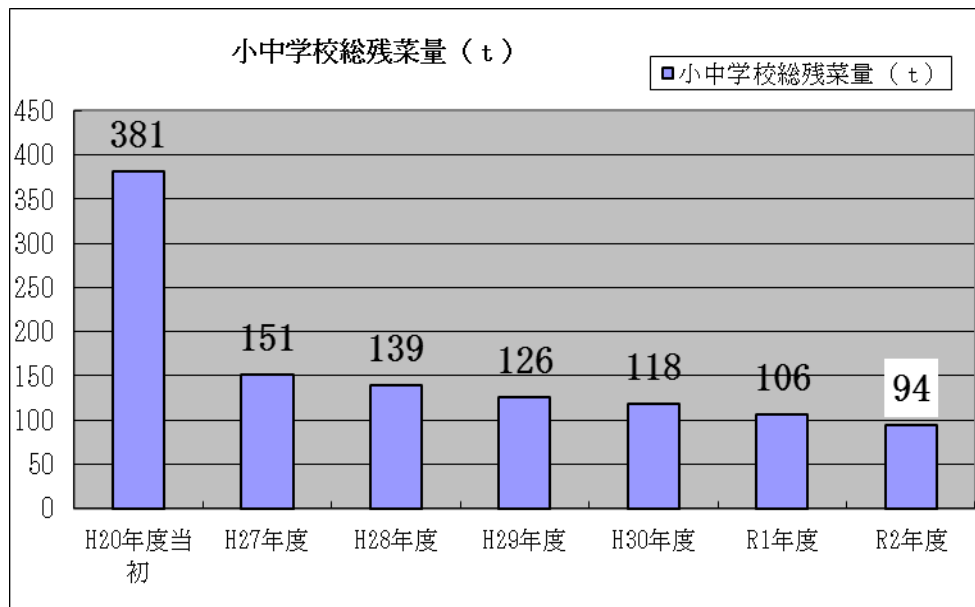
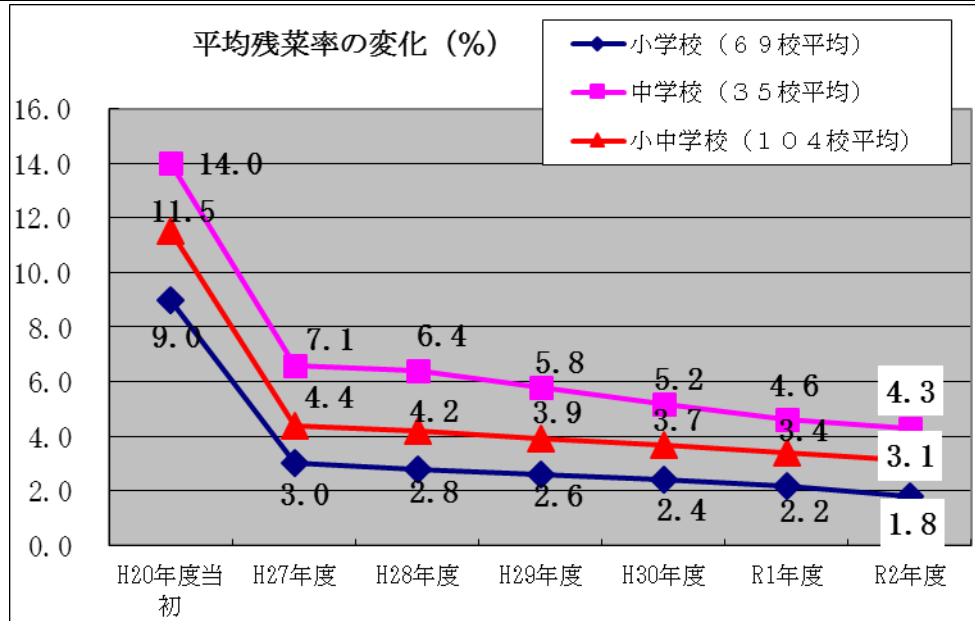
381t (平成20年度当初) → 94t (令和2年度)

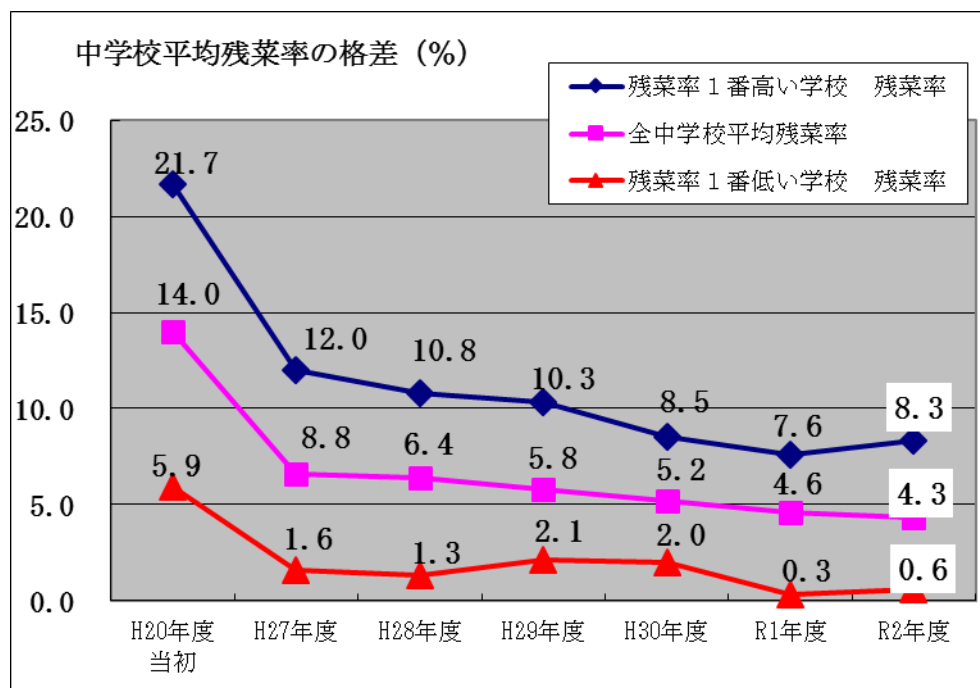
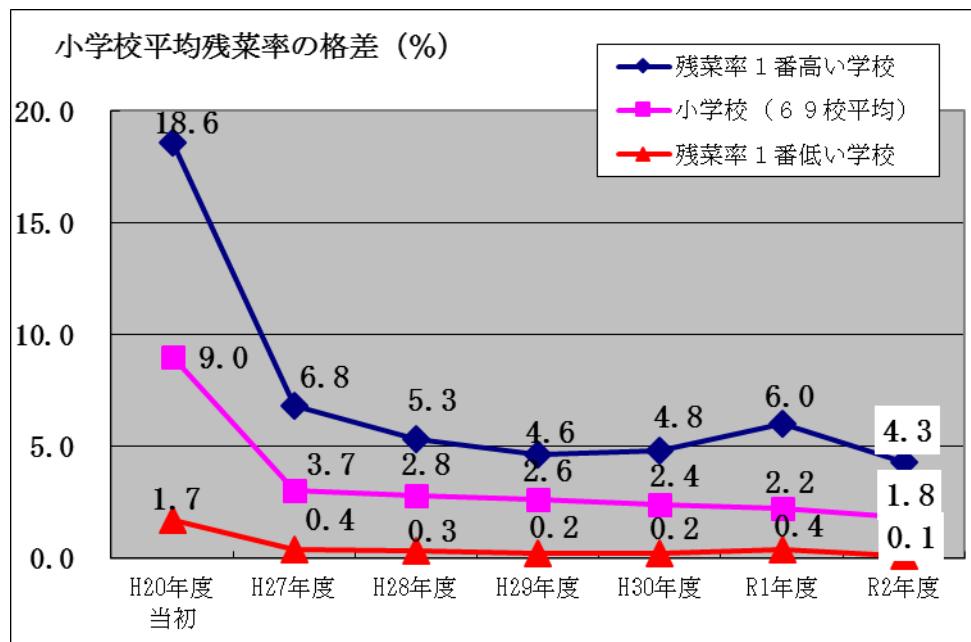
287t減少

※ 給食費の単価で計算すると、平成20年度当初から令和2年度まで約10,285万円分を無駄にせず食べたことになる。

(3) 評価・課題

おいしい給食指導員の巡回指導や、各学校での取り組みや指導により減少させることができたが、学校間の差異があり、これを解消していくことが今後の課題である。





第 1 回健康あだち 2 1 専門部会 報告資料

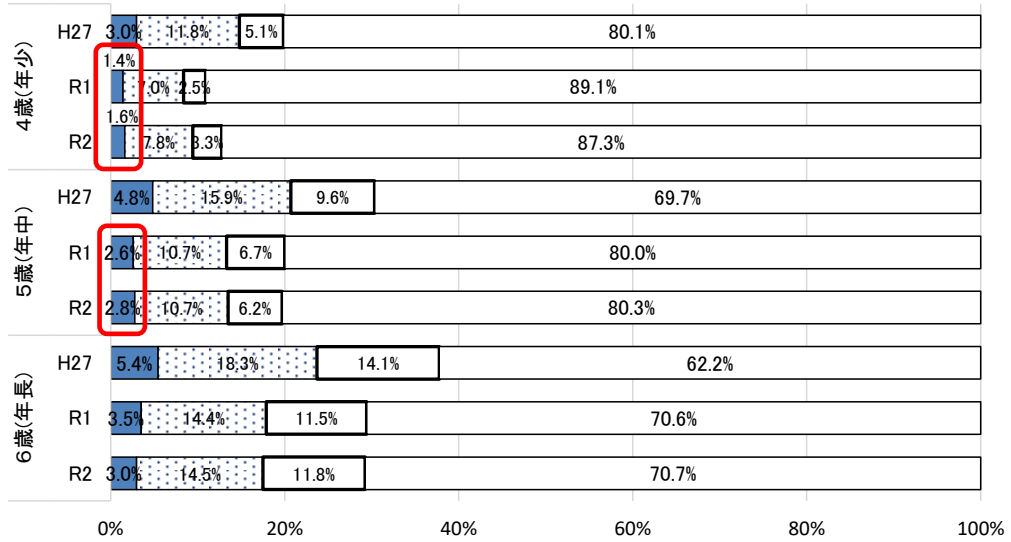
<p>件 名</p>	<p>「歯科口腔保健対策編【中間見直しによる改定版】」の実施結果と令和 3 年度の取り組みについて</p>
<p>所管部課</p>	<p>衛生部 データヘルス推進課</p>
<p>内 容</p>	<p>1 令和 2 年度の事業実績</p> <p>(1) 子どものむし歯・歯周病の状況</p> <p>ア むし歯のない子どもの割合【3 歳児・小学 1 年生】</p> <p>むし歯のない子どもの割合は、3 歳児・小学 1 年生ともに増加した。</p> <p>むし歯がない子どもの割合【H28～R2 年度】</p> <p>出典: 東京の歯科保健 足立区定期学校歯科健康診断結果 東京都学校保健統計書</p> <p>※緊急事態宣言により、あだちっ子歯科健診、定期学校健康診断は、通常より約 5 か月遅れて実施</p> <p>イ あだちっ子歯科健診</p> <p>乳歯にむし歯がある子どもの割合は、年中児(5 歳)、年長児(6 歳)は微減、年少児(4 歳)は歯科健診開始以来、はじめて増加に転じた。</p> <p>※ むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む。</p>

ウ 未処置のむし歯が5本以上ある子どもの割合

あだちっ子歯科健診の結果、未処置のむし歯を5本以上有する子の割合は、年少児・年中児が前年度を上回っている。

未処置のむし歯がある子どもの割合(H27・R1・R2年度比)

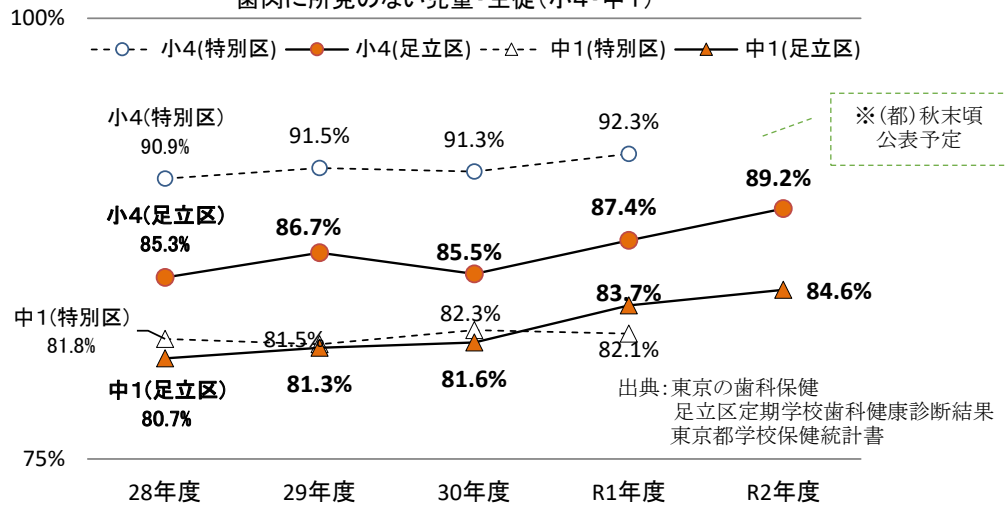
■ 5本以上 □ 1～4本 □ 0本(すべて処置済み) □ むし歯なし



エ 歯肉に所見がない児童・生徒の割合(小学4年生・中学1年生)

小学4年生が1.8ポイント、中学1年生が0.9ポイント増加している。

歯肉に所見のない児童・生徒(小4・中1)



(2) 保育施設、幼稚園、小学校と連携した取り組み

ア 6歳臼歯健康教室実施施設数

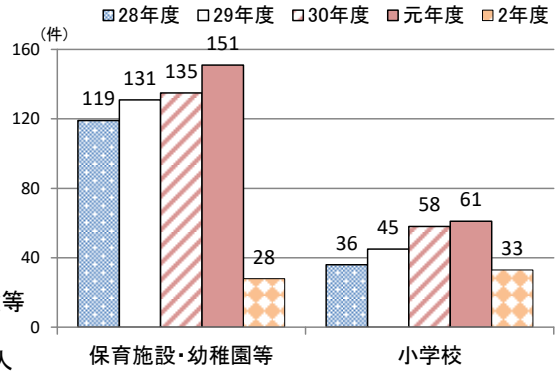
生え始めの永久歯(6歳臼歯)のむし歯予防のため、年長児・小学1年生を対象に、区歯科衛生士が「6歳臼歯健康教室」を実施している。

6歳臼歯にむし歯がない3年生の割合は、前年度より0.7ポイント増加した。

<実施施設数>

年度	教育・保育施設	小学校
H28	119	36
H29	131	45
H30	135	58
R1	151	61
R2	28	33

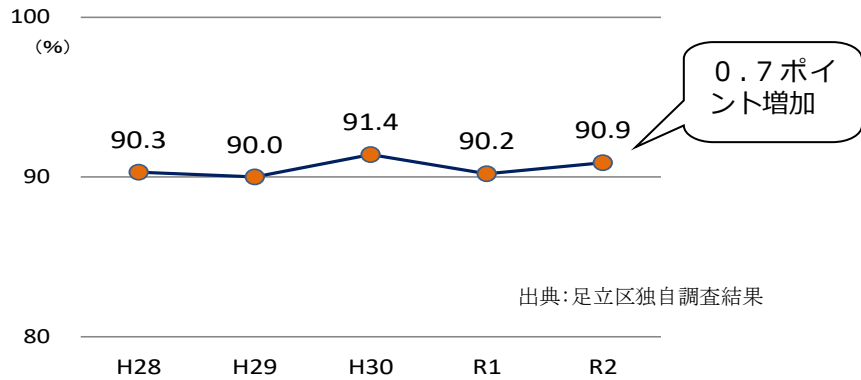
6歳臼歯健康教室実施状況(H28~R2)



※緊急事態宣言により中止となった施設等に、資料配付を実施

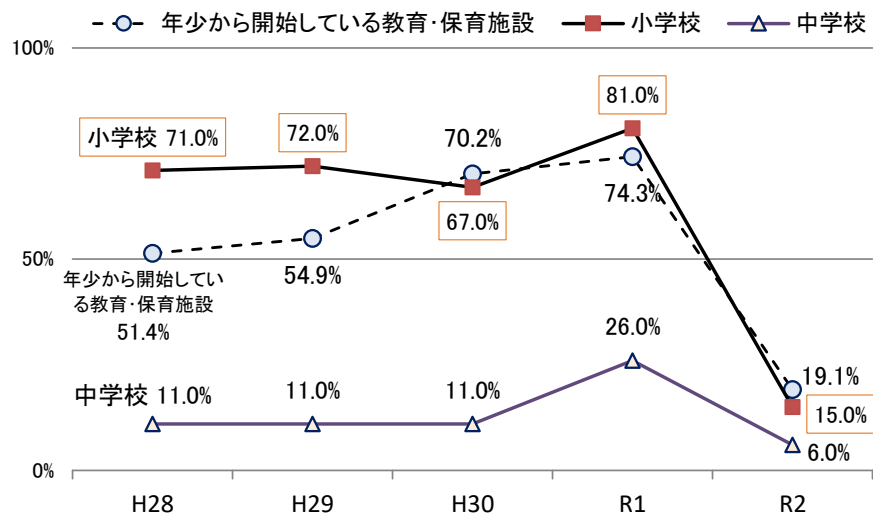
- ・小学校 7校 643人
- ・教育・保育施設 71園 1,503人

小学3年生の6歳臼歯にむし歯がない子の割合



イ 保育園、幼稚園、小中学校における「給食後の歯みがき」実施状況
 歯みがき習慣が身につくよう、年少児からの継続的な習慣づくりを推進している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、給食後の歯みがきを中止した施設が多くなっている。

毎日、給食後の歯みがきを実施する割合(H28~R2)



出典: 「糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー」 R2 年度実績報告より

2 令和3年度の主な取り組みについて**(1) 歯科健診データを活用した「未就学期の歯の健康づくり」の推進**

ア 歯科健診データから、むし歯がある子どもの割合が多い園を優先に、保護者会等で治療勧奨や歯科保健指導するなど、乳児期からのむし歯予防のポイントを家庭へ啓発し、定着を目指していく。

イ 「給食後の歯みがき」に取り組んでいない・またはコロナ禍で中止している施設に、安全な実施方法や保護者への仕上げみがき啓発等の取り組みを支援する（令和3年9月開始予定）。

(2) 6歳臼歯のむし歯予防対策の強化

小学1年生対象の「学校実施版」に加え、新たに家庭学習用ワークシートによる「家庭学習版」を追加し、全校での実施を目指す。

(3) 定期学校歯科健康診断データとの分析を実施

あだちっ子歯科健診、定期学校歯科健康診断等のデータから、これまでの「乳歯・永久歯のむし歯予防」に加えて、「歯周病予防」の観点からも分析・検討していく。

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会報告資料

件名	国民健康保険の医療費と特定健診受診者のヘモグロビンA1c検査結果について															
所管部課	衛生部 データヘルス推進課															
内容	<p>足立区国民健康保険における疾病別費用額と令和2年度に実施した特定健診受診者のヘモグロビンA1c検査の状況を報告する。</p> <p>1 令和2年5月疾病別費用額（資料3-1） KDBシステム（国保データベースシステム）に登録された診療報酬明細書を集計し、費用額上位20位までをリストアップした（歯科除く）。</p> <p>（1）費用額上位 1位 腎不全 2位 糖尿病 3位 その他の悪性新生物＜腫瘍＞</p> <p>（2）件数上位 1位 高血圧性疾患 2位 糖尿病 3位 その他の眼及び付属器の疾患</p> <p>2 令和2年度特定健診受診者のHbA1c検査結果（資料3-2） 受診者のうち、ヘモグロビンA1cの値が7.0以上の方は、2,404人で、全体の約5.9%であった。 このうち、糖尿病治療中の方は1,672人、糖尿病治療は受けていないが高血圧・脂質異常症の治療を受けている方は417人、いずれの治療も受けていない方は315人であった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヘモグロビンA1cの値が7.0以上</td> <td>2,404人 (全体の約5.9%)</td> <td>2,491人 (全体の約5.5%)</td> </tr> <tr> <td>糖尿病治療中</td> <td>1,672人</td> <td>1,773人</td> </tr> <tr> <td>糖尿病治療は受けていないが、高血圧・脂質異常症の治療を受けている</td> <td>417人</td> <td>404人</td> </tr> <tr> <td>いずれの治療も受けていない</td> <td>315人</td> <td>314人</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度	令和元年度	ヘモグロビンA1cの値が7.0以上	2,404人 (全体の約5.9%)	2,491人 (全体の約5.5%)	糖尿病治療中	1,672人	1,773人	糖尿病治療は受けていないが、高血圧・脂質異常症の治療を受けている	417人	404人	いずれの治療も受けていない	315人	314人
	令和2年度	令和元年度														
ヘモグロビンA1cの値が7.0以上	2,404人 (全体の約5.9%)	2,491人 (全体の約5.5%)														
糖尿病治療中	1,672人	1,773人														
糖尿病治療は受けていないが、高血圧・脂質異常症の治療を受けている	417人	404人														
いずれの治療も受けていない	315人	314人														

3 糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病でかつ腎機能が低下しており人工透析の予備群に該当する方に保健指導を行う事業である。

対象者：前年度特定健診受診者で以下の条件を満たす方

- ① ヘモグロビンA1c 7.0%以上
- ② 40歳～69歳
- ③ 尿蛋白（±）以上またはeGFR30以上60未満
- ④ 糖尿病治療中の者

令和2年度 実施数 24人 （令和元年度 13人）

足立区国民健康保険
令和2年5月における疾病中分類別費用額（疾病別費用額計上位20）

費用額単位：（円）

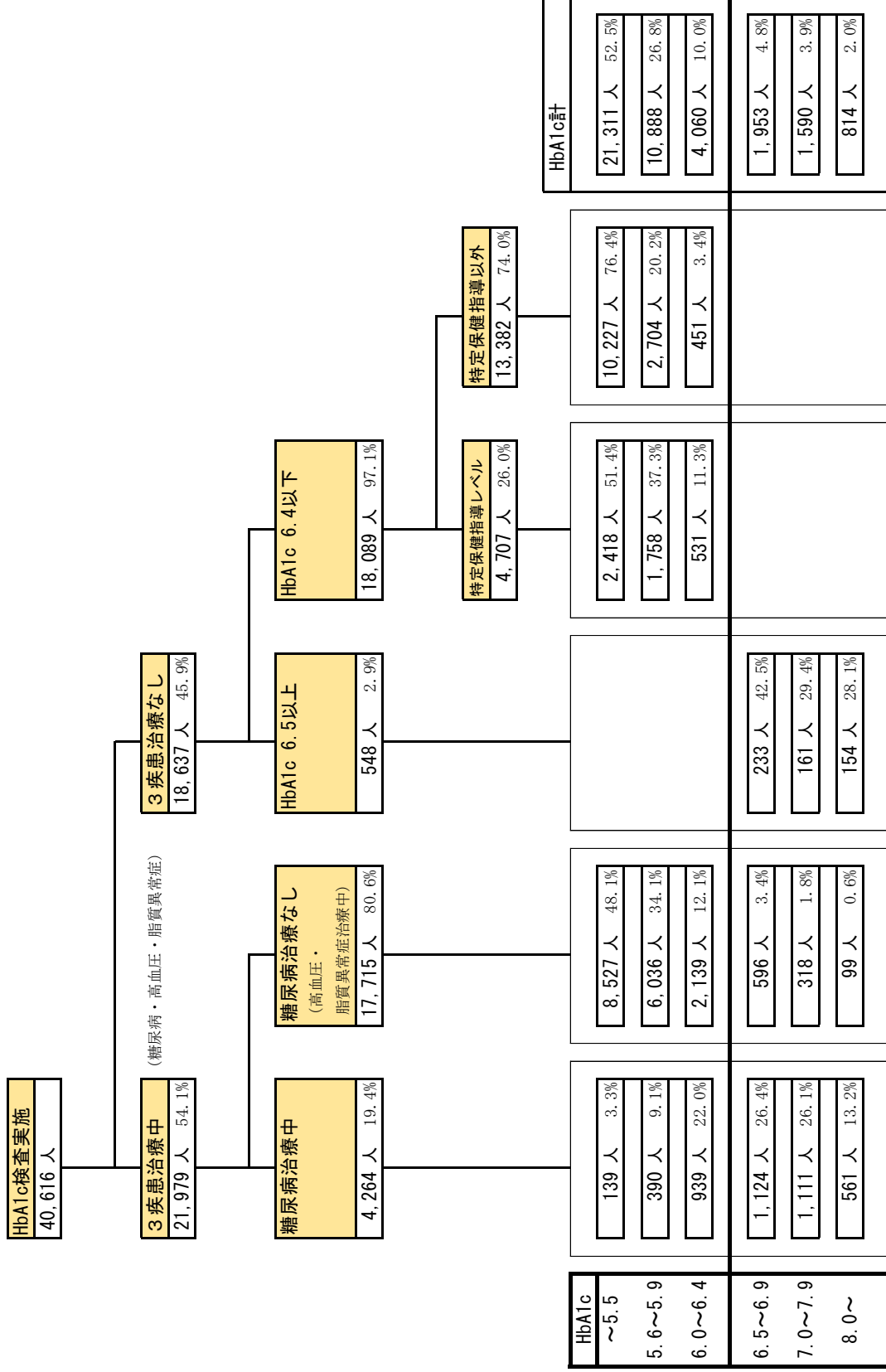
疾病中分類	費用額	件数	1件当たり費用額
1 腎不全	341,001,770	962	354,472
2 糖尿病	201,975,280	6,363	31,742
3 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	182,447,130	780	233,907
4 その他の心疾患	159,298,900	2,014	79,096
5 高血圧性疾患	112,776,840	8,683	12,988
6 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	108,978,300	1,603	67,984
7 その他の消化器系の疾患	103,753,890	2,299	45,130
8 その他の神経系の疾患	98,315,430	3,107	31,643
9 気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	90,373,890	233	387,871
10 その他の眼及び付属器の疾患	75,351,940	5,169	14,578
11 骨折	73,561,080	507	145,091
12 気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	72,754,430	2,419	30,076
13 脂質異常症	72,474,590	4,970	14,582
14 虚血性心疾患	62,470,030	778	80,296
15 乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	53,621,050	433	123,836
16 関節症	53,322,310	1,742	30,610
17 結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	50,638,040	227	223,075
18 症状、徴候及び異常臨床所見・異常・検査所見で他に分類されないもの	49,977,550	1,300	38,444
19 その他の呼吸器系の疾患	49,900,720	257	194,166
20 脳梗塞	48,582,110	392	123,934
	3,312,691,100	80,281	41,264

資料 3-1

* KDBシステムの「疾病別医療費分析（中分類）」メニューより令和2年7月作成分（5月診療分）を抽出したデータから算出。
 * 集計されるレセプトデータは、医科入院、医科外来、調剤であり、歯科レセプトは含まない。
 * 費用額とは、診療報酬点数1点を10円として計算した額であり、保険者負担と被保険者負担の総額を指す。
 * 腎不全には、人工透析が必要な腎不全が含まれる。

足立区国民健康保険

令和2年度特定健診受診者におけるヘモグロビンA1c (HbA1c) 検査結果の状況 (令和3年6月17日時点)



資料 3-2

地域保健福祉推進協議会

第 1 回健康あだち 2 1 専門部会 報告資料

件 名	成人歯科健診及び後期高齢者歯科健診の実施結果について																																																																																								
所管部課	区民部 高齢医療・年金課、衛生部 データヘルス推進課																																																																																								
内 容	<p>1 成人歯科健診受診状況</p> <p>歯周病予防を推進し、口腔状態の改善と健康維持増進を図るため、20歳から70歳まで5歳毎に歯科健診を実施している。また、平成29年度から歯科医療機関において妊婦歯科健診を実施している。</p> <p>(1) 令和2年度成人歯科健診受診者数(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分 年度</th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="3">内訳</th> </tr> <tr> <th>成人</th> <th>妊婦</th> <th>糖尿病連携</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>5,729</td> <td>4,544</td> <td>1,178</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>元</td> <td>5,679</td> <td>4,507</td> <td>1,169</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6,480</td> <td>5,355</td> <td>1,124</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>数値は各年度末現在のもの</p> <p><参考> 令和2年度年齢別内訳及び元年度受診率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢(歳)</th> <th>対象者数(人)</th> <th>受診者数 (妊婦含む)</th> <th>受診率(%)</th> <th>【参考】 R1受診率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>20</td><td>6,521</td><td>340</td><td>5.2%</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>25</td><td>8,869</td><td>430</td><td>4.8%</td><td>3.5%</td></tr> <tr><td>30</td><td>8,505</td><td>597</td><td>7.0%</td><td>5.0%</td></tr> <tr><td>35</td><td>8,470</td><td>540</td><td>6.4%</td><td>5.6%</td></tr> <tr><td>40</td><td>8,922</td><td>695</td><td>7.8%</td><td>6.3%</td></tr> <tr><td>45</td><td>10,664</td><td>455</td><td>4.3%</td><td>3.7%</td></tr> <tr><td>50</td><td>11,718</td><td>714</td><td>6.1%</td><td>5.4%</td></tr> <tr><td>55</td><td>9,930</td><td>376</td><td>3.8%</td><td>4.1%</td></tr> <tr><td>60</td><td>7,666</td><td>593</td><td>7.7%</td><td>7.2%</td></tr> <tr><td>65</td><td>6,718</td><td>344</td><td>5.1%</td><td>5.0%</td></tr> <tr><td>70</td><td>8,367</td><td>488</td><td>5.8%</td><td>3.6%</td></tr> <tr> <td>合計</td> <td>96,350</td> <td>5,572</td> <td>5.8%</td> <td>4.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2年度 その他の年齢の受診者：妊婦 907 件、糖尿病連携 1 件</p>	区分 年度	合計	内訳			成人	妊婦	糖尿病連携	30	5,729	4,544	1,178	7	元	5,679	4,507	1,169	3	2	6,480	5,355	1,124	1	年齢(歳)	対象者数(人)	受診者数 (妊婦含む)	受診率(%)	【参考】 R1受診率(%)	20	6,521	340	5.2%	3.8%	25	8,869	430	4.8%	3.5%	30	8,505	597	7.0%	5.0%	35	8,470	540	6.4%	5.6%	40	8,922	695	7.8%	6.3%	45	10,664	455	4.3%	3.7%	50	11,718	714	6.1%	5.4%	55	9,930	376	3.8%	4.1%	60	7,666	593	7.7%	7.2%	65	6,718	344	5.1%	5.0%	70	8,367	488	5.8%	3.6%	合計	96,350	5,572	5.8%	4.8%
区分 年度	合計			内訳																																																																																					
		成人	妊婦	糖尿病連携																																																																																					
30	5,729	4,544	1,178	7																																																																																					
元	5,679	4,507	1,169	3																																																																																					
2	6,480	5,355	1,124	1																																																																																					
年齢(歳)	対象者数(人)	受診者数 (妊婦含む)	受診率(%)	【参考】 R1受診率(%)																																																																																					
20	6,521	340	5.2%	3.8%																																																																																					
25	8,869	430	4.8%	3.5%																																																																																					
30	8,505	597	7.0%	5.0%																																																																																					
35	8,470	540	6.4%	5.6%																																																																																					
40	8,922	695	7.8%	6.3%																																																																																					
45	10,664	455	4.3%	3.7%																																																																																					
50	11,718	714	6.1%	5.4%																																																																																					
55	9,930	376	3.8%	4.1%																																																																																					
60	7,666	593	7.7%	7.2%																																																																																					
65	6,718	344	5.1%	5.0%																																																																																					
70	8,367	488	5.8%	3.6%																																																																																					
合計	96,350	5,572	5.8%	4.8%																																																																																					

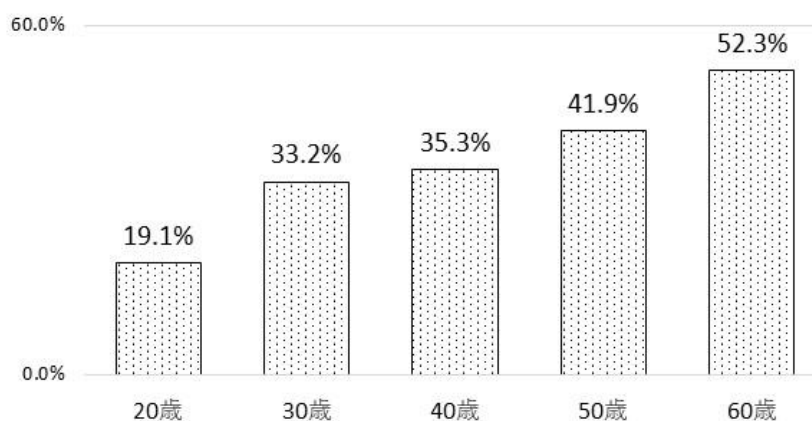
(2) 令和2年度成人歯科健診結果【歯肉の状況】

区分 年度	受診者数	歯肉の状態 (PD 最大値)			出血 (BOP)		
		*0	*1	*2	なし	あり	
30	5,729	3,416	2,051	259	1,996	3,730	
元	5,679	3,426	1,995	256	1,927	3,751	
2	6,480	3,935	2,203	338	2,303	4,174	
内 訳	成人計	5,355	3,228	1,820	303	1,936	3,416
	男性	2,004	1,099	742	161	665	1,338
	女性	3,351	2,129	1,078	142	1,271	2,078
	妊婦	1,124	706	383	35	367	757
	連携	1	1	-	-	-	1

※対象者：20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70歳の区民
(平成29年度～)

- ・ 数値は各年度末現在のもの
 - * 歯肉の状態測定不能者4名 出血(BOP)該当歯なし3名
- ・ 歯肉の状態(PD 最大値)の説明
 - *0 健康な歯肉 *1 4～5mmに達するポケット *2 6mmに達するポケット

4ミリ以上の歯周ポケットがある区民の割合



(3) 令和3年度の取り組みについて

- ア 20歳を対象に、前歯のクリーニング特典付き「20歳(歯タチ)の歯科健診」を開始し、若い世代から歯周病予防を啓発していく。
- イ 40歳、50歳、60歳、70歳に送付している再勧奨ハガキを分かりやすいデザインにし、受診率の向上を図る。

2 後期高齢者歯科健診受診状況

(1) 健診の目的

高齢期における口腔機能の低下を予防し、健康の維持・増進を図るため、平成30年度から歯科健診を開始した。

(2) 対象者

76歳および80歳（年度末年齢）

(3) 令和2年度受診者数(人)

年齢	対象者数	受診者数			受診率
		男性	女性	合計	
76歳	6,841	237	350	587	8.6%
80歳	7,319	214	364	578	7.9%
計	14,160	451	714	1,165	8.2%

(4) 令和2年度後期高齢者歯科健診結果

ア むし歯及び歯肉の状況

区分 年度	実施 人数	むし歯 のない 者	むし歯のある者			歯肉の状態 (PD最大値)			出血(BOP)		
			治療完 了の者	要治療 の者	計	*0	*1	*2	なし	あり	
30	1,342	10	836	461	1,297	477	553	238	440	829	
元	1,265	11	807	404	1,211	495	504	192	428	763	
2	1,165	13	753	372	1,125	469	468	176	389	723	
年 齢	76歳	587	5	392	182	574	237	239	92	194	373
	80歳	578	8	361	190	551	232	229	84	195	350

・数値は各年度末現在のもの

* 無歯顎（歯が0本）の人 27名（76歳8名 80歳19名）

* 歯肉の状態測定不能者 25名（76歳11名 80歳14名）

* BOP測定不能者 26名

・歯肉の状態(PD最大値)の説明

*0 健康な歯肉 *1 4～5mmに達するポケット *2 6mmに達するポケット

(5) 令和3年度の取り組みについて

受診率向上および口の体操の普及啓発を目的に、歯科健診受診者に「あだち・ちゅうりっぷ体操」啓発グッズを配付する。

ア 配付物（各2,300部予定）

・「あだち・ちゅうりっぷ体操 オーラルフレイル予防編」啓発リーフレット、区オリジナル保険証ケース

イ 配付期間

令和3年9月1日（水）から12月25日（土）

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会 報告資料

件名	足立区データヘルス計画の計画期間延伸について
所管部課	衛生部 データヘルス推進課
内容	<p>足立区データヘルス計画は令和2年度中に改定を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により計画改定のための十分な期間を確保できなかったため、以下のとおり計画期間を1年延伸する。</p> <p>1 計画期間</p> <p>(1) 変更前 平成30年度から令和2年度まで</p> <p>(2) 変更後 平成30年度から令和3年度まで</p> <p>2 今後の対応</p> <p>令和3年度中に足立区データヘルス計画を改定する。</p> <p>次期計画の計画期間は「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」に基づき、「足立区国民健康保険第三期特定健康診査等実施計画」の終期と合わせるために、令和4年度から令和5年度までとする。</p>

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会 報告資料

件名	子どもの健康を守る卒煙チャレンジ支援事業の令和2年度実施結果について												
所管部課	衛生部 ころろとからだの健康づくり課												
内容	<p>子どもの健康を守る卒煙チャレンジ支援事業の令和2年度実施結果を報告する。</p> <p>1 事業概要</p> <p>18歳未満の子どもと同居する保護者（妊婦およびそのパートナーを含む）で禁煙を希望する方を対象に、健康保険適用の禁煙外来治療における自己負担分の費用（上限2万円）を助成する。</p> <p>2 対象医療機関</p> <p>76か所の区内禁煙外来医療機関</p> <p>3 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申込者</td> <td>54名</td> <td>42名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>治療終了者※</td> <td>28名</td> <td>21名</td> <td>7名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和3年3月31日までに治療が終了し、かつ、助成金の交付申請があった者</p> <p>4 今後の方針</p> <p>令和3年度より、区ホームページからオンラインでの申請ができるように変更した。</p> <p>引き続き、妊娠届出時面接、ホームページ、A-メール、SNS等での啓発により申込者を増やすとともに、治療終了していただけるよう、電話で治療状況の確認や受診勧奨等を行なっていく。</p>		合計	男性	女性	申込者	54名	42名	12名	治療終了者※	28名	21名	7名
	合計	男性	女性										
申込者	54名	42名	12名										
治療終了者※	28名	21名	7名										

地域保健福祉推進協議会

第 1 回健康あだち 2 1 専門部会 報告資料

件 名	令和 2 年度こころといのちの相談支援事業の実績及び 令和 3 年度の取組み方針について
所管部課	衛生部 こころとからだの健康づくり課
内 容	<p>令和 2 年足立区自殺者数及び令和 2 年度こころといのちの相談支援事業における主な取組み結果について報告する。</p> <p>1 足立区自殺者数の現状</p> <p>令和 2 年の区自殺者数は、112 人（男性 71 人、女性 41 人）で前年 125 人より 13 人減少した（人口動態統計）。自殺者が急増した平成 10 年と比べると、区は 42.0%の減で、国や都を上回っている（国 38.8%減、東京都 29.9%減 とともに令和元年比）。前年と比べて男性は減少、女性は横ばいであるが、性別・年齢別では、20～30 歳代男性の増加がみられた。職業別では、無職者が減少し、被雇用・勤め人が増加している。</p> <p>【資料 7－1 参照】</p> <p>2 当事者に対する支援</p> <p>(1) インターネット・ゲートキーパー事業</p> <p>広告表示回数、新規相談者数は横ばい傾向であるが、広告クリック数は増加している。相談者の内訳は、10～30 歳代の若年者が 97 人（84.3%）、女性が 93 人（80.9%）である。</p> <p>広告表示回数：115,798 回 広告クリック数：7,751 回 新規相談者数：115 人 〈前年度 表示回数：111,898 回 クリック数：6,305 回 相談者数：115 人〉</p> <p>【資料 7－2 参照】</p> <p>(2) 雇用・生活・こころと法律の総合相談会におけるこころの相談ブース</p> <p>29 日間の開催のうち、6 月の 6 日間は緊急事態宣言直後のため、電話相談会として、その後は対面相談として実施した。</p> <p>相談人数：62 人（うち自殺念慮者 9 人） 〈前年度 相談人数：88 人（うち自殺念慮者 14 人）〉</p> <p>(3) 遺族支援 分かちあいの会「とまり木」</p> <p>4～5 月は緊急事態宣言により中止となり、10 回の開催であったが、</p>

延べ人数は横ばいであった。

参加者：実 12 人、延べ 16 人〈前年度 参加者：実 12 人、延べ 16 人〉

3 関係機関とのネットワーク構築

(1) こころといのちの相談支援ネットワーク会議

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催にて実施。

会議資料送付機関数：庁外 32 機関、庁内 22 課

〈前年度 会議出席機関数：庁外 27 機関、庁内 21 課〉

(2) つなぐシート連携状況：335 件

研修にて周知を図り、前年度とほぼ横ばいを維持した。つなぐシートの利用者のうち自死に至ったケースは 0 件であった。

〈前年度：342 件、自死に至ったケース 1 件〉

4 人材育成

ゲートキーパー研修

コロナ禍において「気づき」のための人材拡大を目指して、初級研修を重視し、初級 3 回・中級 1 回を受講人数を制限しながら実施した。

【初級】

対象：区職員、民生・児童委員、相談支援に携わる関係者

参加人数：208 人

〈前年度：155 人〉

【中級】

対象：区職員

参加人数：84 人

〈前年度：83 人〉

【教員向けゲートキーパー研修】

対象：小・中学校の教職員

参加人数：134 人

〈前年度：305 人〉

【出張ゲートキーパー研修】

対象：マッチングクリエイター、配食サービス事業者、私立保育園長、
中学校 PTA 関係者、生活支援サポーター等

参加人数：270 人（計 8 回）

〈前年度：504 人（計 12 回）〉

5 啓発

(1) 若年者向けの取組み

特別授業 SOS の出し方教育「自分を大切にしよう」

4～5月の休校期間の影響により人数は減少したが、若年者の自殺増加の報道を受け、高校2校でも実施した。

実施校数及び受講者数：

小学校 25校 2,287人、中学校 8校 1,263人、高校 2校 334人、
計 35校 3,884人

*上記のうち8校は、保健師が授業を実施

〈前年度：43校（小 34校、中 9校） 5,217人〉

(2) 自殺対策強化月間(9月、3月)の取組み

経済・雇用部署との連携を強化し、ハローワーク、商工会議所等に一般向け啓発ティッシュを新規に設置した（年間配布数 1,700個）。

ア パネル展示：全図書館、本庁舎アトリウム

イ 懸垂幕・横断幕掲出：本庁舎、本庁舎アトリウム

ウ ビュー坊テレビ：啓発画像放映

エ ポスター掲示：庁内、バス車内、駅、医療機関、浴場等
約 1,200カ所

オ あだち広報 8/25号、2/25号

(3) 女性向け相談カードの設置

中央図書館の女性トイレに新規に設置。庁舎窓口、庁舎内女性トイレ、エル・ソフィア、スーパーベルクス等、女性の手に取りやすい箇所に、継続的に設置した。

年間配布枚数：12,000枚

〈前年度：12,000枚〉

(4) 高齢者向け相談カードの設置

区内 64 郵便局に新規に設置。区内医療機関、薬剤師会薬局、関係機関等、高齢者が立ち寄りやすい箇所に、継続的に設置した。

年間配布枚数：50,000枚

〈前年度：31,000枚〉

6 令和3年度 of 取組み方針

コロナ禍で他人との接点が減って孤立化の深まりや自殺リスクの高まりが懸念される。令和3年度はコロナ禍で孤立した方への支援を軸に、以下の重点対象ごとに、各相談窓口との連携を強化していく。

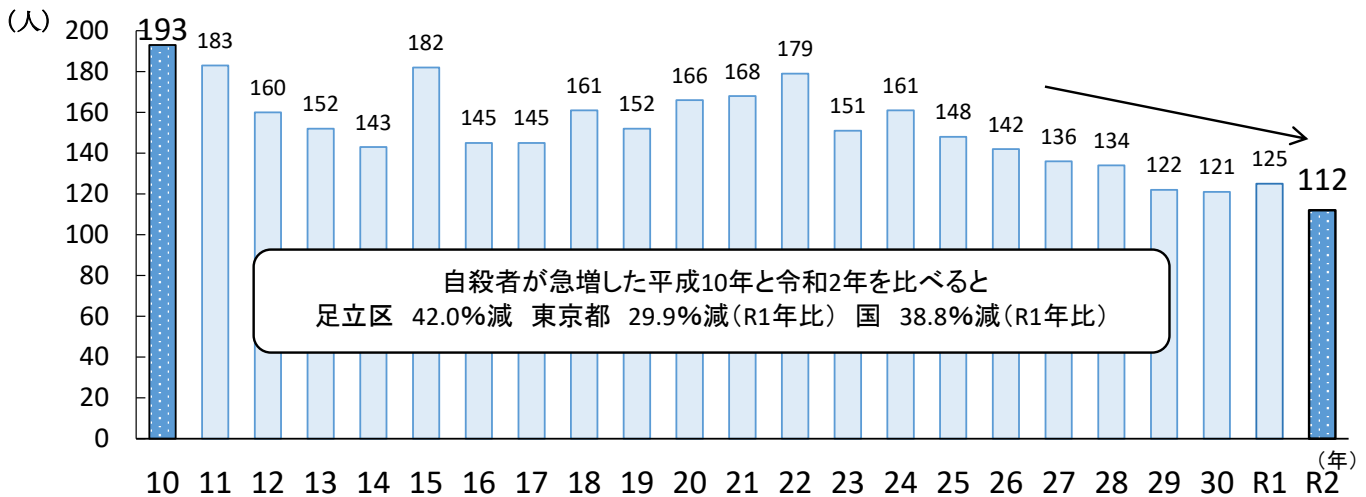
①経済・雇用問題を抱えて孤立した男性

- ②家庭・経済・雇用問題を抱えて孤立した女性
- ③孤立した高齢者
- ④生きづらさを抱えた若年者

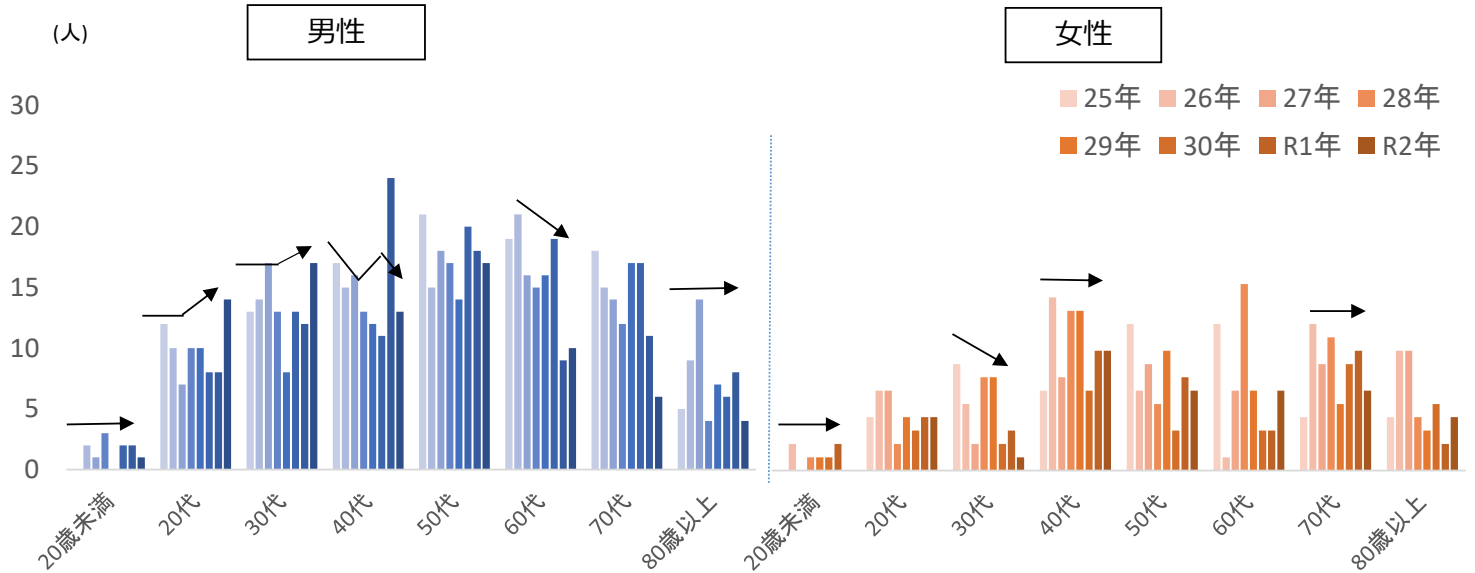
【 足立区自殺者の現状 】

資料 7-1

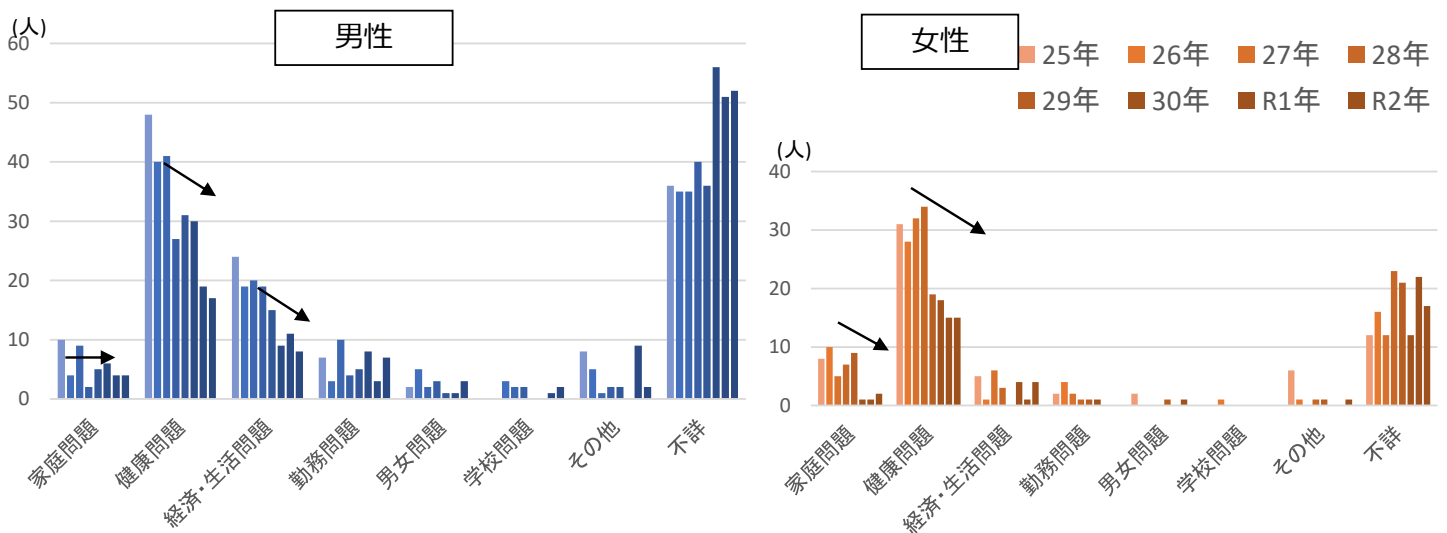
①足立区自殺者数の推移【H10-R2】（人口動態統計）※R2年は暫定値



②足立区男女別自殺者の推移【H25-R2】（警察庁自殺統計）

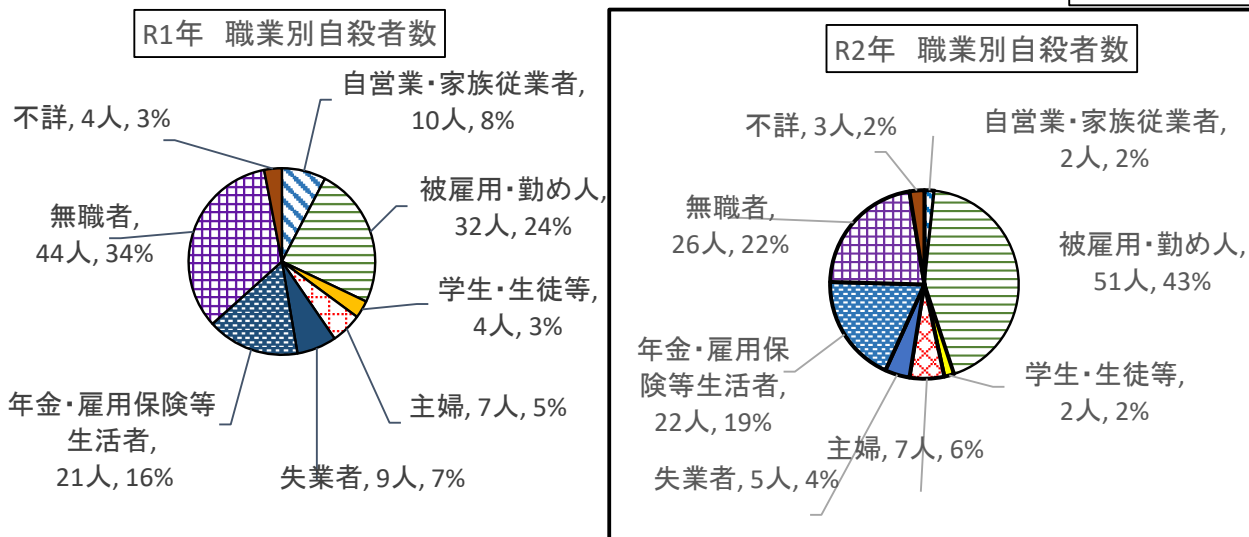


③足立区原因・動機別自殺者数【H25-R2】（警察庁自殺統計）



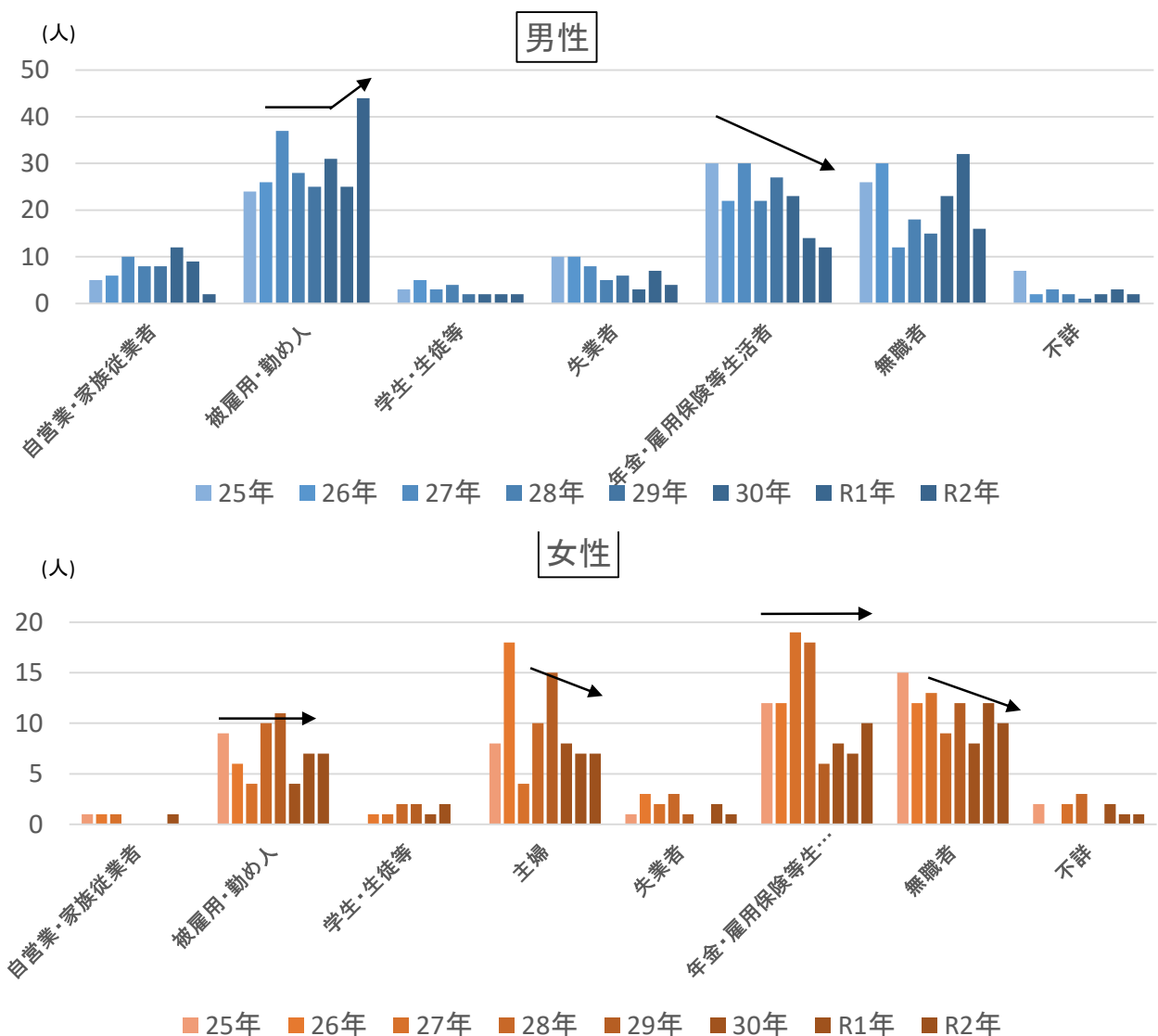
④足立区職業別自殺者数【R1・R2年比較】（警察庁自殺統計）

資料7-1



被雇用・勤め人が増加。R1年24%→R2年43%
無職者が減少。R1年34%→R2年22%

⑤足立区職業別自殺者数の推移【H25-R2】（警察庁自殺統計）



インターネット・ゲートキーパー事業

1 事業内容

インターネットで自殺に関連するキーワード（死にたい・自殺方法等 330 語句）を検索した方に相談を促す広告を表示して、メール相談に誘導。メール相談から現実の相談（電話・面談・他機関との連携等）につなぎ、自殺を未然に防止する。

電話相談につながりにくい孤立した若者等を対象としている。

（平成 30 年 4 月より開始）

① スマホで自殺に関する語句「死にたい、消えたい、自殺方法等」を検索

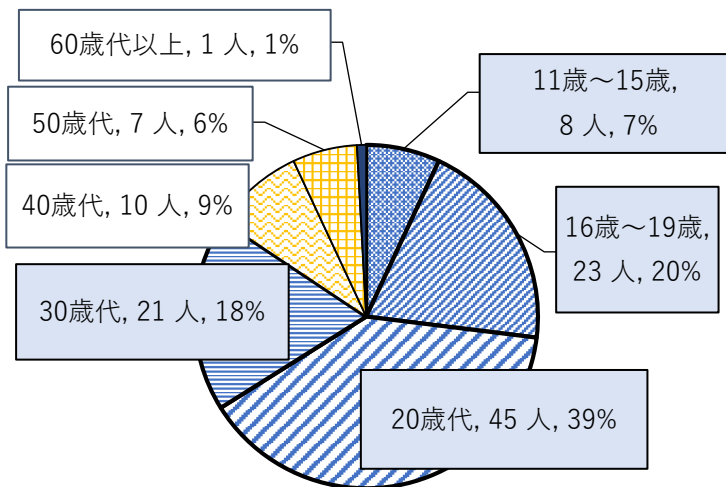
② 【画面表示・見本



2 実施状況

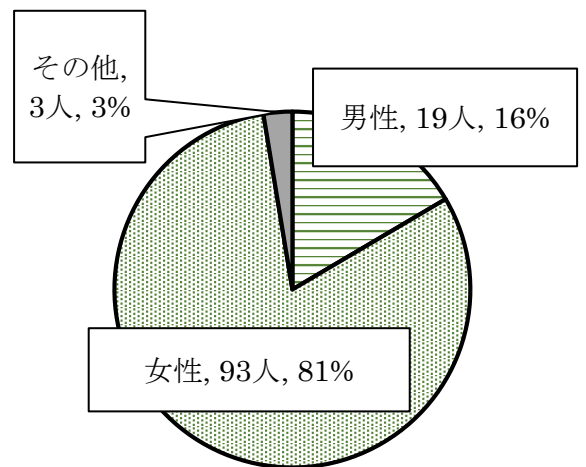
	広告表示回数	広告クリック数	相談者数
令和 2 年度	115,798	7,751	115
令和元年度	111,898	6,305	115

令和2年度 年齢別相談者



若年者(10～30歳代) 97人 84.3%
 <前年度 89人 77.4%>

令和2年度 男女別相談者



女性相談者 93人 80.9%
 <前年度 76人 66.1%>

地域保健福祉推進協議会

第1回健康あだち21専門部会 情報連絡資料

件名	就学前教育・保育施設における食育の取り組みについて
所管部課	子ども家庭部 子ども施設指導・支援担当課
内容	<p>1 コロナ禍での食育に関する保護者への啓発と食育体験</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、4月9日から5月31日までの1か月半の間、就学前教育・保育施設（以下、就学前施設）は臨時休園する事態になり、食育活動も中断せざるを得なかった。</p> <p>しかしその後、感染拡大防止対策を行いながら、給食や予定していた食育事業は円滑に実施することができた。</p> <p>なお、保護者のクラス入室制限や保護者会等の中止により、保護者との連携がとりにくい状況ではあったが、区及び各施設では、以下の取り組みを行い、家庭への食育の啓発・支援を行った。</p> <p>(1) 区主導の取り組み</p> <p>区から保護者へは、簡単レシピの情報発信を行い、一方で園児への食育体験（栽培・調理等）を支援するとともに、全栄養士で情報共有を図った。</p> <p>ア 情報発信</p> <p>毎月19日を食育・やさいの日として、旬の野菜を使用した給食を実施し、家庭用にアレンジした簡単レシピを配付するだけでなく、SNS等（ツイッター・フェイスブック・クックパッド）でも情報発信をした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="470 1550 687 1832"> </div> <div data-bbox="703 1550 1018 1832"> </div> <div data-bbox="1050 1550 1348 1832"> </div> </div> <p>保護者への配付用レシピ ツイッター・フェイスブック クックパッド「東京あだち食堂」</p> <p>特に臨時休園期間中は、保育園の給食の味が再現できるよう、ステイホーム中の保護者の方々に毎日簡単レシピをSNS等で発信し、園児が休園明けにスムーズに給食に向き合えるよう支援を行った。その後は、区ホームページ中に「保育園のおいしい給食レシピ集」を立ち上げ、SNS等と共に定期的な情報発信を現在も継続実施している。</p>



また、6月の食育月間には「おうちでつくってみよう」（資料8-1）のテーマで、レシピが簡単に検索できるチラシを作成し、全就学前施設へ配付した。

イ 食育体験（栽培・調理等）

4・5歳在園施設に足立区の特産野菜「小松菜」の栽培セット（種・土・防虫ネット）の配付や小松菜料理レシピ（小松菜のみそ汁等）を紹介し、各施設の栽培・調理体験の支援をした。



例年6月の食育月間に、一斉に栽培体験の推進を呼びかけていたが、令和2年度は、新型コロナの影響から、施設自身が栽培や調理体験の時期を決めて実施した。

ウ 栄養士ネットワーク交流会の実施

感染状況が一旦小康状態となった秋に栄養士ネットワーク交流会（学校栄養士・就学前施設栄養士・保健所栄養士が参加）を実施し、各施設の事例を含めて発表し合い、他の施設でも実施できるように情報共有をはかった。その後、多くの施設で同様の取り組みが実践された（実施にあたっては、感染防止対策を徹底した）。

(2) 各施設独自の取り組み

各施設では、園で行った食育の場での子どもの姿を園内掲示や給食だより等で積極的に保護者に伝えた。

【事例1】食育の様子をクラス前掲示で保護者に紹介



【事例2】子どもの姿を伝える食育だよりの配付



2 就学前施設の食育の質向上に向けた取り組み

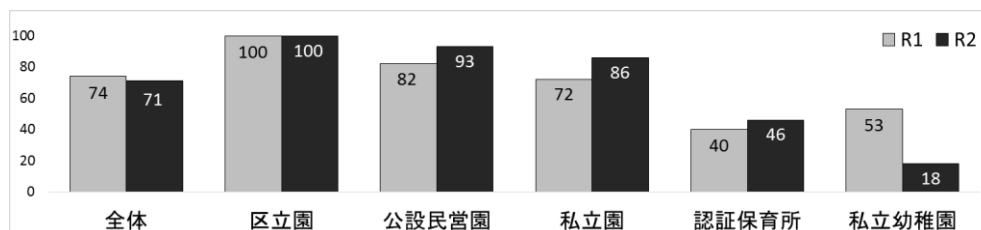
令和2年度は、待機児ゼロをめざした施設整備に伴い、保育施設が23園増加した。担当課では、どの就学前施設に通う子どもたちへも同様の食育が実施できるよう、「教育・保育施設におけるあだちの食育」（資料8-2）を作成し、園長会等で施設長に配付し周知を徹底した。また、担当課栄養士が電話だけでなく、各施設へ巡回訪問を行い、積極的に相談に応じる等のアウトリーチ型支援も行っている。

3 令和2年度食育の実績（4,5歳児在園施設のみ）

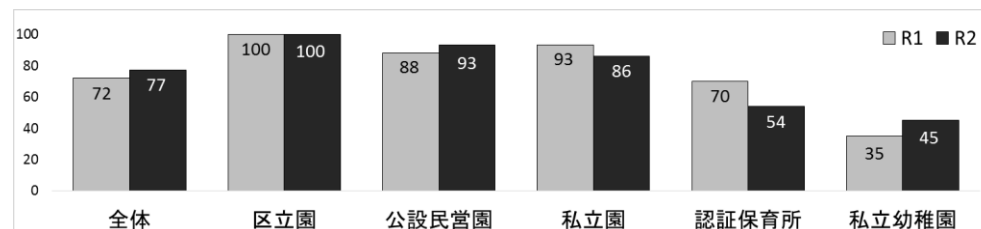
全体としては、コロナ禍の影響をうけながらも前年度と同程度の食育は実施できていた。

施設種別でみると、区立園は下記のどの取り組みも全園で実施されており、公設民営園や私立保育園でも前年度よりほとんどの項目で取り組み施設が増加していた。しかし、私立幼稚園は、小松菜栽培は前年度より多くの園で実施できたが、それ以外の項目の実績は低い傾向がみられた。

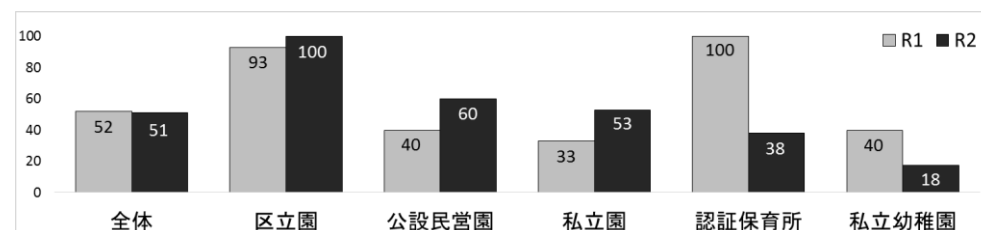
(1) 「ひと口目は野菜から」の取り組み施設割合 (%)



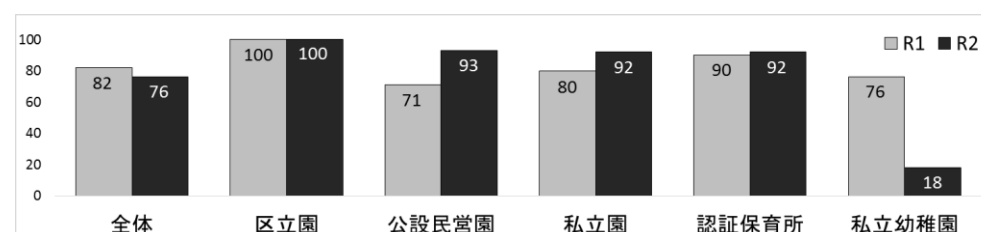
(2) 区配付の小松菜栽培セットを使用し栽培をした施設割合 (%)



(3) 野菜等の調理体験実施施設数



(4) 保護者に野菜のレシピ等の情報発信をした施設の割合 (%)



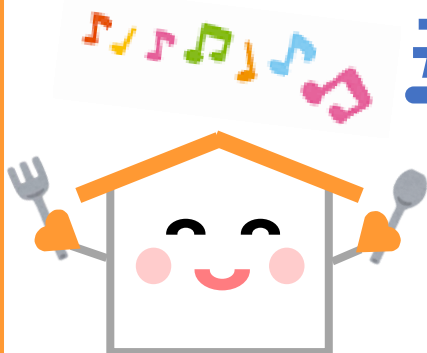
4 今後の取り組み

令和3年度も引き続き給食・食育については、新しい生活様式を取り入れ、新型コロナウイルス感染防止策を行いながら実施していく。

担当課では、「3 令和2年度食育の実績」において未実施の取り組みがある施設については、巡回訪問時等に実施の支援をするとともに、各施設で実施した給食や食育の好事例や、子どもが喜んで体験する姿等を情報発信し、他施設での実践と保護者へ啓発していくことで、取り組み施設数の拡大とともに家庭での食育の推進など、全体をブラッシュアップしていく。

また、衛生部と連携し、全就学前施設の5歳児全員に「ひと口目は野菜からチャレンジシート」配付し、家庭で「ひと口目は野菜から」食べる習慣の定着化をはかる。

おうちでつくってみよう



6月は食育月間。「自宅で出来る！ちよい増し野菜」をテーマに、ご家庭で簡単にできるベジレシピをご紹介します。

園では、健康的な食習慣の定着と、野菜に親しむことをめざして、幼児期から『ひと口目は野菜から』食べる習慣づくりを行っています。

ご家庭でも『ひと口目は野菜から』を実践し、家族みんなで健康になりましょう！

Cookpad 足立区公式キッチン



「日本一おいしい給食」を目指している給食のレシピや、「あだちベジタベライフ」の野菜たっぷりレシピをご紹介します。保育園給食のレシピもいっぱいです。

詳しくはこちら ↓



毎月19日は「食育・やさいの日」 食育・やさいの日レシピ集



区立園では、毎月19日は「食育・やさいの日」として、旬の野菜を使った給食を提供しています。12か月の旬野菜を紹介したレシピ集です。

詳しくはこちら →



包丁いらす！ 簡単野菜レシピ動画



包丁を使わない、手軽で簡単にできるレシピを動画でご紹介しています。

詳しくはこちら →



朝はこれでバッチリ！ 朝ベジ1週間レシピ



主食・主菜・副菜がたったの5分でそろう、朝食におすすめのベジレシピを1週間分まとめてご紹介しています。

詳しくはこちら →



あだち食のスタンダードサポート BOOK・自分で作ろう！



詳しくはこちら ↓



【ステップ1】ごはん・みそ汁編

炊飯器でのごはんの炊き方やみそ汁の作り方、包丁の使い方を学べます。年長さんの、おうちでのお手伝いにピッタリ！

【ステップ2】おかず編

火を使わないメニューから電子レンジクッキングなど、メニューに困ったときにも簡単に野菜がプラスできるレシピがいっぱいです。

【ステップ3】ちよい増し野菜編

忙しい朝におすすめの時短レシピや、野菜を簡単にストックできるフリージングのコツ、キッチングッズの便利な活用方法などのアイデアがいっぱいです。

教育・保育施設における“あだちの食育”

あだちベジタベライフ～そうだ、野菜を食べよう～

区では、糖尿病等の生活習慣病予防のために「あだちベジタベライフ～そうだ、野菜を食べよう～」をキャッチフレーズにして、野菜に重点をおき、乳幼児期から高齢期まで一貫した食による健康づくりを推進しています。

健康に生涯を過ごすための実践力「あだち食のスタンダード」を中学卒業時まで定着させるため、乳幼児期から野菜に親しむことをめざし、以下の取り組みを食育計画に取り入れていただき、実施をお願いします。

◆ひと口目は野菜から

幼いころから野菜から食べる(ベジ・ファースト)の習慣化をめざします。

幼児期(4歳頃から)からは
毎食「ひと口目は野菜から」いただきます！



採れた小松菜で
おみそ汁を作ってみよう！

◆小松菜の栽培・調理体験

野菜を育てる、調理するなどの体験を通して、子どもの野菜への関心を高めます。

区では、4・5歳在園施設に足立区の特産野菜「小松菜」の栽培セットを配付し、栽培・調理体験の支援をしています。

小松菜が大きく育ったよ！
おいしそう！どんな味かな？



◆保護者への啓発

「ひと口目は野菜から」等、園での食育は、ぜひ保護者へお伝えし、子どもの健康的な食習慣が、ご家庭でも定着できるよう働きかけをお願いします。区では、毎月19日は「食育・やさいの日」として、旬の野菜を使った家庭用レシピを各施設にお送りしますので、保護者への啓発にご活用ください。

食育計画作成には足立区教育・保育の質ガイドラインを活用しましょう

子どもが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくため、生活と遊びの中で、意欲をもって食に関わる体験を積み重ねられるよう、食事の提供を含む食育計画の作成が義務付けられています。足立区教育・保育の質ガイドライン(P40)には、『食育の計画』と『食事の提供』の項目の中に配慮すべき点や、あだち食のスタンダードの取り組み(P43)、食育の実践例(P44)等を記載していますので、参考にしてください。



【給食・食育】に関する区の情報提供

【給食・食育】の件名で、毎月、各施設長様宛にメール配信します。各園で参考にいただいたり、保護者への啓発にご活用ください。

- ◆ 区立園の給食献立資料(献立表・給食日誌・アレルギー対応確認表・調理業務指示書・給食だより)
- ◆ 「毎月19日は食育・やさいの日」として、旬の野菜を使った家庭用野菜レシピ(保護者配付用)
- ◆ 北足立市場「青果情報」 ※ その他、給食・食育関係の情報を随時配信します。

問い合わせ・連絡先 足立区 子ども家庭部 子ども施設指導・支援担当課 栄養士

電話 3880-5446 FAX 3880-5703 メール kodomo-sidou@city.adachi.tokyo.jp

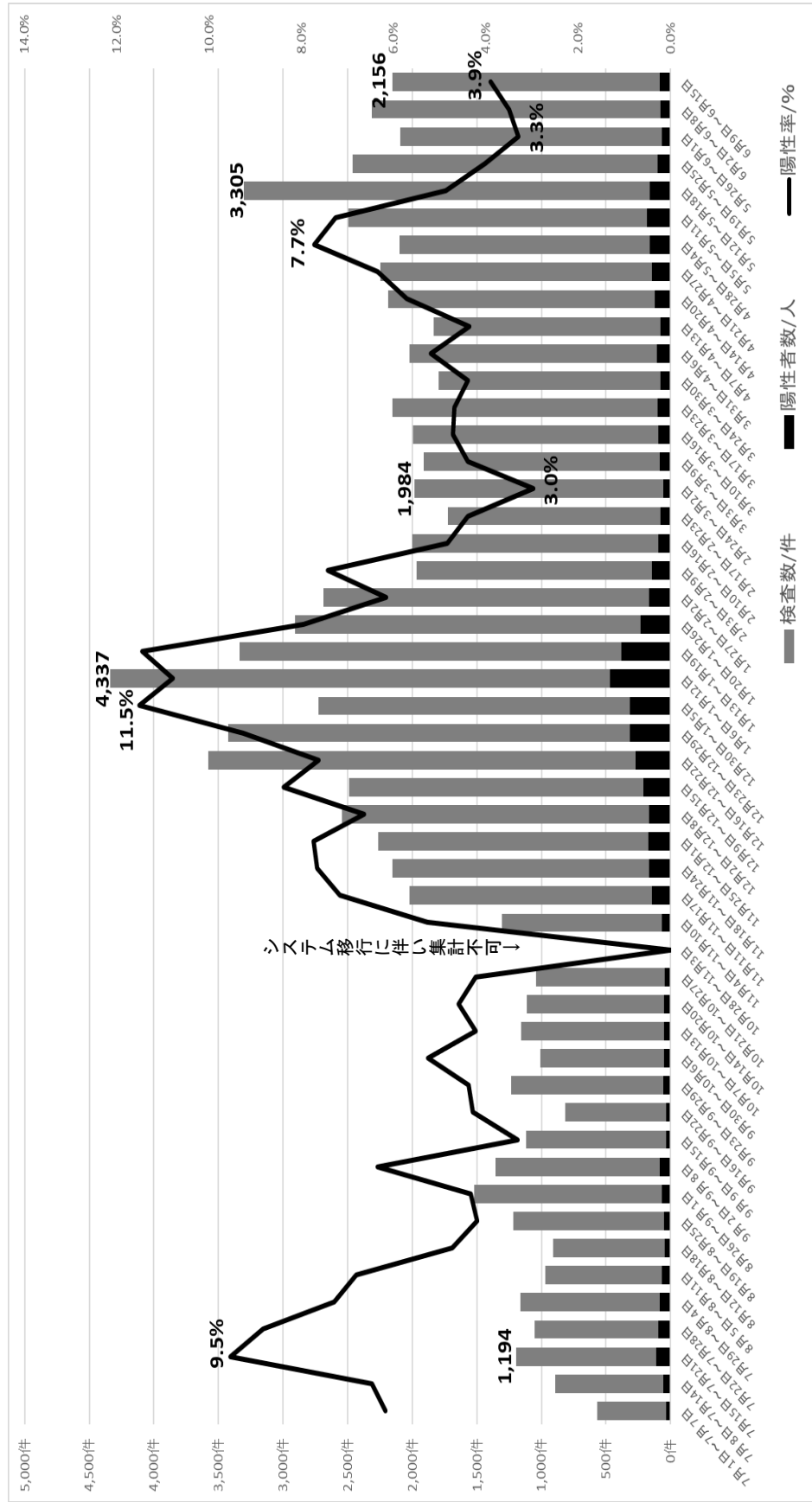
地域保健福祉推進協議会

第 1 回健康あだち 2 1 専門部会 情報連絡資料

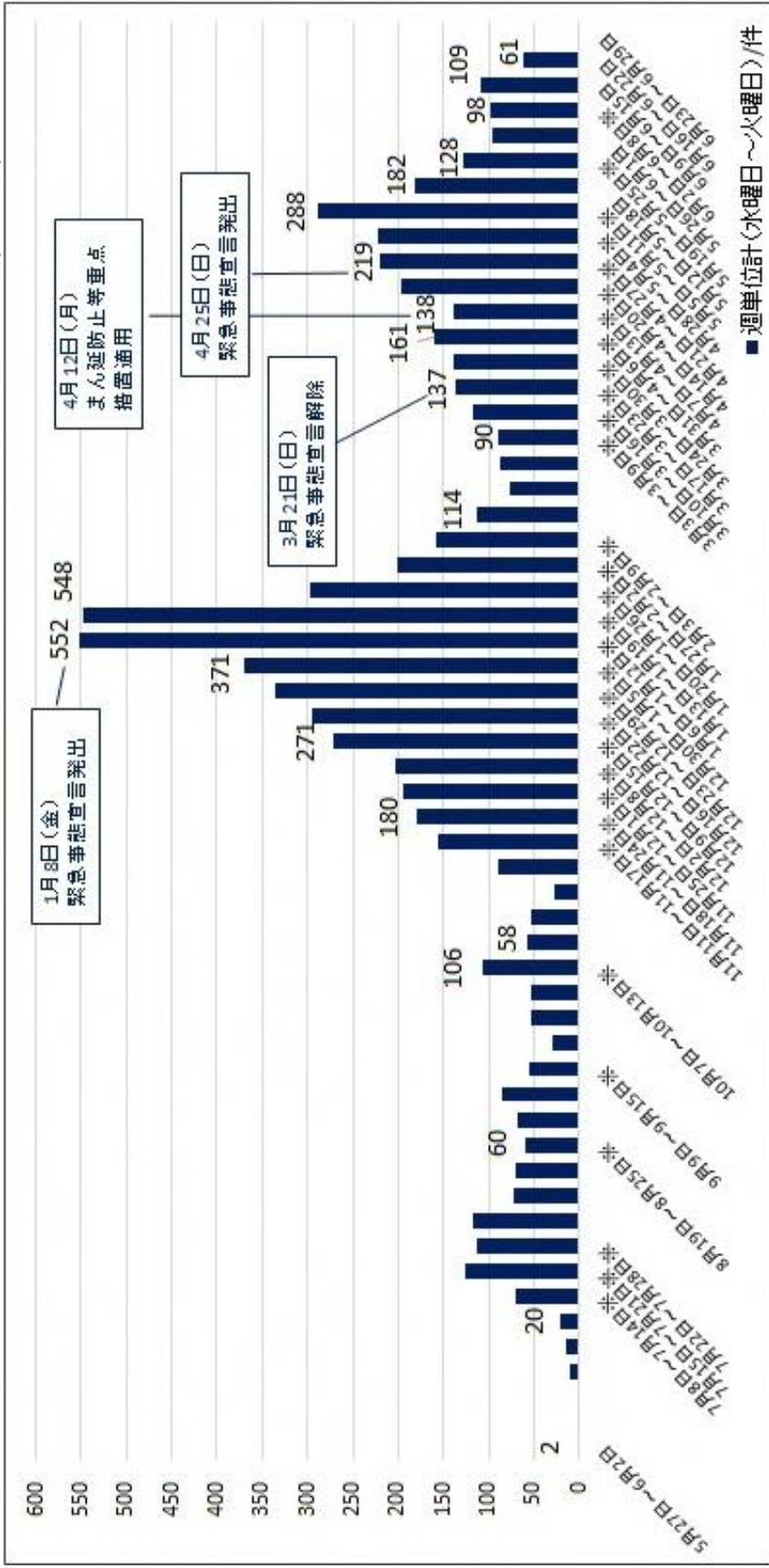
件 名	足立区における新型コロナウイルス感染症発生状況について
所管部課	衛生部 足立保健所感染症対策課
内 容	<p>新型コロナウイルス感染症は、ワクチン普及により、一定の効果が期待されているところであるが、いわゆるイギリス型、インド型等の変異株の世界的な急速な感染拡大の影響も懸念され、予断を許さない状況となっている。</p> <p>別紙のとおり、区内における患者の発生状況等について報告する。</p>

足立区における新型コロナウイルス感染症発生状況について

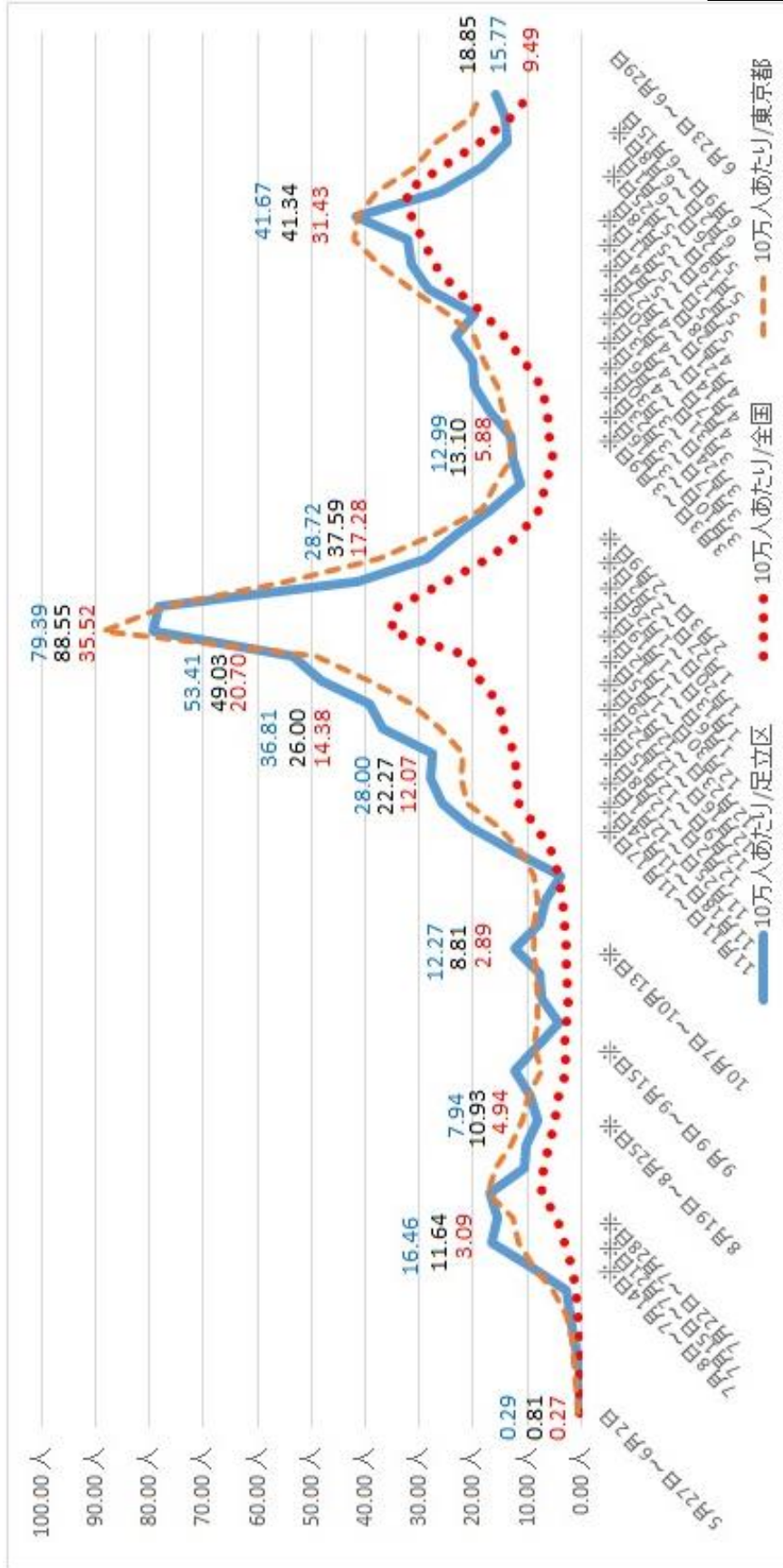
(1) 区内におけるPCR検査数と陽性率の推移（6月18日 午前9時現在）



(2) 週単位の区内感染者数及び累計 (6月21日 午前9時現在) 累計 7,943人



(3) 1週間毎の人口10万人あたりの新規陽性者数（6月18日 午前9時現在）



(4) クラスタ発生状況（6月21日 午前9時現在）

区内で発生したクラスタの総数は56件、その陽性者の総数は951名で、全体の約1割強を占めている。

施設種別	発生施設数	感染者数	合計
接待を伴う飲食店	4	52	951人
医療機関	13	370	
高齢者施設	22	348	
障がい者施設	7	56	
保育園	5	49	
区施設	1	7	
その他	4	69	